

戦後期の児童日本文学全集における日本古典文学の「再話」 目録

小櫃暢太郎

はじめに

戦後から高度経済成長期にかけて、日本の古典文学がどれだけ「再話」されてきたか、その基礎研究として戦後から一九六〇年までに刊行された児童文学叢書・全集の中での再話状況を取り上げたい。児童文学の中の日本文学の再話を考える際に、参考になるものとして『世界児童文学全集・内容綜覧』（日外アソシエーション 一九九八年）が挙げられるが、しかし、主に大きな出版社の刊行物を中心に採録されており、講談からの流れなどを含めた全体の流れをそこから確認することは難しい。本稿では、先にあげた全集・叢書研究や調査を足掛かりにし、約七五点ほどの児童文学の全集・叢書の中で、どういった日本の古典文学作品が取り上げてきたかを、「再話」研究の基礎的なものとして集計していく。それによって、作品ごとに研究がなされることが強い古典の再話について、全体の傾向や繋がりを見出していこうとするのが、本稿の主眼である。

凡例

- ・ 一九四五年から一九六〇年までに、全集の初巻がはじめて発売されたものの中で、日本文学の古典が再話されたものの計七六点についての目録である。
- ・ 全集名 巻数 出版社 出版年の順に並べている。全集の総巻数については、確認できたもののみ掲載している。
- ・ 全集の内容については、単行本の中で代表的な日本文学の古典の再話を掲載している、とみなされるもののみを抽出している。また『宮本武蔵』など講談の代表的な作品についても掲載しているが、『霧隠才蔵』など掲載していない作品もあり、目録作成者の恣意性が反映されている。
- ・ 実物が刊行されたかどうか確認できず、目録に掲載されている作品については、年度を不明、とした。また、刊行予定だったものの、刊行されていないと考えられるものには、それぞれ※をつけ、補足の説明を行っている。
- ・ 一つの単行本の中で、多くの作品が採録されているものについては、その作品の一覧を掲載し、その中で、古典作品の代

表的なエピソードを採録しているものを、作品別の索引に掲載している。また、明らかに何を再話しているのか分かるものについては、再話されている古典文学の名前を列挙するに留めている。

付随の作品別の索引については、例えば「虫めずる姫君」など、その作品集の代表的なエピソードや「豊臣秀吉」など人物名や作者名などで再話されているものについても索引に掲載している。また、井原西鶴のように、採録された作品がばらけており、作者名で再話されていることが多いものについては、作品名ではなく、作者名で項目を作っている。そのため、索引はあくまで暫定的なものでしかない。

・ 童話春秋社の表記については、『日本児童文学大事典』（大日本図書 一九九三年）の項目を参照し、一九五〇年までに出版されたものは「童話春秋社」、一九五一年以降に出版されたものを「同和春秋社」としている。

収録全集一覧

- 一、日本名作物語 童話春秋社 一九四一年～一九五八年
- 二、新版日本童話宝玉集 童話春秋社 一九四七年
- 三、学童文庫 中学年用 株式会社啓文館 一九四七年～一九四八年
- 四、女学生文庫 樞原書房 一九四七年

- 五、少年文庫 光文社 一九四七年～一九四八年
- 六、少年少女講談文庫 黎明社 一九四八年～一九四九年
- 七、少年少女時代小説 東光出版社 一九四八年～一九五〇年
- 八、鳥文庫 小山書店 一九四八年～一九五一年
- 九、少年講談 金鈴社 一九四九年

- 一〇、名作童話 玄文社 一九四九年
- 一一、少年少女名作文庫 英研社 一九四九年
- 一二、世界おとぎ文庫 小峰書房 一九四九年～一九五〇年
- 一三、世界名作全集 講談社 一九五〇年～一九六二年
- 一四、世界名作童話全集 講談社 一九五〇年～一九五五年
- 一五、中学生全集 筑摩書房 一九五〇年～一九五一年
- 一六、新児童文庫 三十書房 一九五〇年～一九五一年
- 一七、少年文庫 あかね書房 一九五〇年～一九五一年
- 一八、世界童話文庫 潮文閣 一九五一年
- 一九、岩波少年文庫 岩波書店 一九五一年～一九六二年
- 二〇、玉川少年少女文庫偉人叢書 玉川大学出版部 一九五一年
- 二一、世界名作文庫 偕成社 一九五一年～一九五六年
- 二二、世界名作物語 ポプラ社 一九五二年～一九五五年
- 二三、少年少女名作文庫 妙義出版社 一九五二年～一九五三年
- 二四、少年少女日本名作選 誠文堂新光社 一九五二年～一九五三年
- 二五、少年講談 照林社 一九五二年～一九五四年

- 二六、国語と文学の教室 福村書店 一九五二年～一九五九年
- 二七、少年読物文庫 同和春秋社 一九五二年～一九五九年
- 二八、児童文庫 カバヤ児童文化研究所 一九五二年～一九五四年
- 二九、偉人伝文庫 ポプラ社 一九五二年～一九五九年
- 三〇、世界少年少女文学全集 東京創元社 一九五三年～一九五六年
- 三一、日本伝承民俗童話全集 河出書房 一九五三年
- 三二、知識文庫 ポプラ社 一九五三年～一九五六年
- 三三、保育社の名作絵文庫 保育社 一九五三年～一九五六年
- 三四、日本名作物語(日本名作全集) 黎明社 一九五四年～一九五六年
- 三五、少年講談全集 講談社 一九五四年～一九五五年
- 三六、少年痛快講談全集 太陽少年社 一九五四年～一九五五年
- 三七、小学館の幼年文庫 小学館 一九五四年～一九五九年
- 三八、日本少年少女名作全集 河出書房 一九五四年～一九五九年
- 三九、実録時代小説 偕成社 一九五四年～一九五八年
- 四〇、児童名作全集 偕成社 一九五五年～一九六一年
- 四一、幼年世界名作全集 あかね書房 一九五五年～一九六〇年
- 四二、名作物語文庫 講談社 一九五五年
- 四三、お話博物館 実業之日本社 一九五五年～一九五九年
- 四四、少年・日本武人物語 黎明社 一九五五年
- 四五、世界の名作 筑摩書房 一九五六年～一九五八年
- 四六、日本少年少女古典文学全集 弘文堂 一九五六年～一九六一年
- 四七、日本古典童話全集 小峰書房 一九五六年
- 四八、ぼくたちの研究室 さ・え・ら書房 一九五六年～一九六三年
- 四九、中学生の古典文学 至文堂 一九五六年～一九五七年
- 五〇、初級世界名作童話 泰光堂 一九五六年～一九五九年
- 五一、「少年少女のための国民文学」 福村書店 一九五六年～一九六一年
- 五二、たのしい日本歴史童話 ポプラ社 全一〇巻 一九五六年～一九五七年
- 五三、学年別・幼年文庫 全六〇巻 偕成社 一九五六年～一九六〇年
- 五四、楽しい名作童話 ポプラ社 一九五七年
- 五五、幼年名作全集 保育社 一九五七年～一九五八年
- 五六、少年少女物語文庫 集英社 一九五七～一九五九年
- 五七、土曜日物語…子どものための日本の古典文学 東光出版社 一九五七年
- 五八、ぺりかん写真文庫 平凡社 一九五七年
- 五九、学級図書館 青葉書房 一九五七年～一九五八年

- 六〇、日本名著ものがたり 東西文明社 一九五七年
- 六一、なかよし絵文庫 偕成社 一九五七年～一九六二年
- 六二、少年少女世界文学全集 講談社 一九五八年～一九六二年
- 六三、少年少女日本名作物語全集 講談社 一九五八年～一九六三年
- 六四、私たちの日本古典文学 さ・え・ら書房 一九五八年～一九六六年
- 六五、児童世界文学全集 偕成社 一九五九年～一九六二年
- 六六、日本少年少女童話全集 創元社 一九五九年～一九六〇年
- 六七、名作を生かそう 全三巻 さ・え・ら 書房 一九五九年
- 六八、世界名作全集 平凡社 一九五九年～一九六一年
- 六九、日本のこころ 小峰書店 (一九五九年～一九六一年)
- 七〇、子どもの伝記物語 ポプラ社 一九五九年
- 七一、日本伝説ものがたり 泰光堂 全三巻 一九五九年
- 七二、学年別世界児童文学全集 日本書房 一九六〇年～一九六一年
- 七三、少年少女日本むかし噺 東光出版社 一九六〇年
- 七四、幼年世界文学全集 偕成社 一九六〇年～一九六五年
- 七五、日本童話全集(あかね書房 一九六〇年～一九六三年)
- 七六、少年少女世界むかしばなし全集(宝文館 一九六〇年)

- 一、日本名作物語 童話春秋社 一九四一年～一九五八年
- ・『義経記』(高野正巳 絵 米内穂豊 童話春秋社 一九四一年)
- ・『少年太閤記 日吉丸の巻』(舟橋聖一 絵 武田一馬 童話春秋社 一九四二年)
- ・『信長記』(福田清人 童話春秋社 一九四三年)
- ・『太平記』(高野正巳 絵 森村宜永 童話春秋社 一九四三年)
- ・『平家物語』(福田清人 童話春秋社 一九五〇年)
- ↓表記はないが、絵は羽石光志のものに類似
- ・『宇治拾遺物語』(吉田精一 絵 羽石光志 童話春秋社 一九五〇年)
- 宇治拾遺物語、古今著聞集
- ・『保元・平治物語』(伊藤佐喜雄 絵 山口将吉郎 同和春秋社 一九五一年)
- ・『曾我物語』(高木卓 絵 森屋外加志 同和春秋社 一九五一年)
- ・『今昔物語』(片桐顕智 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五一年)
- ・『雨月物語』(所弘 絵 木下春 同和春秋社 一九五二年)
- 雨月物語、春雨物語
- ・『堤中納言物語』(細川武子 絵 米内穂豊 同和春秋社 一九五二年)
- ・『竹取物語・落窪物語』(成瀬正勝 絵 真野満 同和春秋社 一九五二年)

九五二年)

・『芭蕉物語』(那須辰造 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五三年)

・『更級日記土佐日記』(福田清人 絵 森村宜永 同和春秋社 一九五三年)

・『良寛物語』(釘本久春 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五四年)

・『清少納言物語』(池田亀鑑 絵 岩田正巳 同和春秋社 一九五四年)

・『大鏡物語』(高藤武馬 絵 川田清美 同和春秋社 一九五四年)

・『徒然草物語』(松浦貞俊 絵 川田清美 同和春秋社 一九五七年)

・『万葉集物語』(久松潜一 絵 鴨下晃湖 同和春秋社 一九五七年)

・『西鶴物語』(高藤武馬 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五七年)

・『一茶名作物語』(荻原井泉水 同和春秋社 一九五七年)

・『実朝物語』(木俣修 羽石光志 同和春秋社 一九五八年)

・『古事記』(石井庄司 同和春秋社 一九五九年)

・『西行物語』(藤川忠治 同和春秋社 不明)

・『蕪村物語』(中村草田男 同和春秋社 不明)

二、新版日本童話宝玉集 全三巻 童話春秋社 一九四七年

・『新版日本童話宝玉集 上』(編 楠山正雄 絵 川崎福太郎 童話春秋社 一九四七年)

猫の草子(お伽草子)、はまぐり姫(お伽草子)、かぐや姫(竹取物語)、くらげのお使、梵天国(お伽草子)、浦島太郎(お伽草子)、ものぐさ太郎(お伽草子)、御曹司島わたり(お伽草子)、俵藤太(お伽草子)、分福茶がま、萬壽と唐糸、一寸法師(お伽草子)、花咲じじい、魚鳥平家(お伽草子)、金太郎、こぶとり(宇治拾遺物語)、草木太平記(お伽草子)、大江山(お伽草子)、福富の長者、羅生門(今昔物語)、七福神、松山鏡、はちかづき(お伽草子)、ネズミの嫁入り、たなばた

・『新版日本童話宝玉集 中』(編 楠山正雄 絵 川崎福太郎 同和春秋社 一九五三年)

腰折すずめ、一本のわら(今昔物語集)、山うばと山男、うり子姫子、古家のもり、わざくらべ(今昔物語)、鬼六、長い名、どんぐりぼったん、大うそつき、さるかに、かちかち山、百合若大臣、骨と皮、榎木の僧正(徒然草)、しみのすみか、仏さまのご先祖、仁和寺の法師(徒然草)、ちえの環、牛若と弁慶(義経記)、舌切雀、こわいもの知らず、天狗の鼻鼻、小僧和尚さん、ばか婿、与太郎、ふしぎなうす、黒い石、しいの実ひろい、おだんご浄土、権兵衛の天上、地獄めぐり、六人坊主、花と木のむかし話、

笛のうた、おさるのお嫁、たにしの出世、物のいわれ

・『新版日本童話宝玉集下』（編 楠山正雄 絵 川崎福太郎 童話春秋社 一九四九年）

八またのおろち（古事記）、赤い玉、鬼同丸と袴垂（四天王剿盗異録）、殺生石、狗山の犬、ぬえ、裾野の青嵐、和莊兵衛の夢、鉢の木（謡曲）、ゆうれい琵琶、しつぺい太郎、くずの葉ぎつね、盗まれた大釣鐘、葛城山、うばすて山、金のにわとり、一つ家のものがたり、梅若塚、安寿姫都志王丸（安寿と厨子王）、長者の米俵、所のいわれ、生田川、養老の滝（十訓抄）、かにとへび、五色の糸、玉とり、夢殿、白いもち白い鳥、天の羽衣、夢占、うたう木話す木、いなばのうさぎ（古事記）、海さち山さち（古事記）、三輪山、貧者富者、春男秋男、雷のさずけ子

三、学童文庫 中学年用 全二四巻 株式会社啓文館 一九四七～一九四八年

・『かぐや姫 竹取物語』（児童文化振興会 株式会社啓文館 一九四七年）

・『人を馬にする話 今昔物語集選』（児童文化振興会 株式会社啓文館 絵 齋田喬 一九四八年）

・『はちかつぎ姫』（児童文化振興会 絵 田代寛哉 株式会社啓文館 一九四八年）

・『安寿と厨子王』（児童文化振興会 絵 田代寛哉 株式会社啓文館 一九四八年）

文館 一九四七年）

・『馬にのったかみなり 耳ぶくろ抄』（児童文化振興会 絵 伊藤静子 株式会社啓文館 一九四八年）

四、女学生文庫 樞原書房 一九四七年

・『更級日記の乙女（女学生文庫）』（福田清人 樞原書房一九四七）

五、『少年文庫』光文社 一九四七～一九四八年

・『かぐや姫』（鈴木三重吉 絵 西沢笛畝 光文社 一九四七年）

・『あんじゅ姫つし王丸』（楠山正雄 絵 玉村吉典 光文社 一九四七年）

・『源氏物語 光る君』（島津久基 絵 真野満 光文社 一九四八年）

・『昔話玉手箱』（松村武雄 絵 清水崑 光文社 一九四八年）

・『良寛さま 偉人童話』（大坪草二郎 絵 福田豊四郎 光文社 一九四八年）

・『今昔物語 おばけのお祭り』（楠山正雄 絵 若山為三 光文社 一九四八年）

・『牛若丸の冒険』（島津久基 絵 西沢笛畝 光文社 一九四八年）

六、少年少女講談文庫 黎明社 一九四八～一九四九年

- ・『一休さん』（東野正雄 絵 土村正寿 黎明社 一九四八年）
- ・『里見八犬伝』（芦谷光久 黎明社 一九四八年）
- ・『大久保彦左衛門』（松雲寺健 絵 土村正寿 黎明社 一九四九年）
- ・『出世日吉丸』（東野正雄 絵 土村正寿 黎明社 一九四九年）
- ・『水戸黄門漫遊記』（東野正雄 絵 土村正寿 黎明社 一九四九年）

・七、少年少女時代小説 東光出版社 一九四八年～一九五〇年

- ・『宮本武蔵』（阿出川節夫 東光出版社 一九四八年）
- ・『大久保彦左衛門』（米山鮎之介 東光出版社 一九四八年）
- ・『岩見重太郎』（原重郎 東光出版社 一九四八年）
- ・『柳生重兵衛』（原重郎 東光出版社 一九四八年）
- ・『真田三代記』（浜健一 東光出版社 一九四九年）
- ・『少年太閤記 第1巻』（吉川英治 東光出版社 一九五〇年）
- ・『少年太閤記 第2巻』（吉川英治 東光出版社 一九五〇年）

八、島文庫 小山書店 一九四八年～一九五一年

- ・『古事記物語』（鈴木三重吉 絵 江崎孝平 小山書店 一九四八年）
- ・『山椒大夫』（森鷗外 絵 江崎孝平 小山書店 一九四八年）
- ※『今昔物語』（瀧井孝作 小山書店 不明）

※『竹取物語』（川端康成 小山書店 不明）

※『ガリヴァーの旅』（野上豊一郎 小山書店 一九四八年）所収の目録で名前を確認。但し、現物は確認できず、なおかつその後の目録では名前がないため、発行されていないと考えられる。

九、少年講談 全一五巻 金鈴社 一九四九年

- ・『弥次喜多道中記』（編 金鈴社編集部 金鈴社 一九四九年）
- ・『大岡越前守』（編 金鈴社編集部 金鈴社 一九四九年）
- ・『太閤記 日吉丸の巻』（編 金鈴社編集部 金鈴社 一九四九年）

- ・『柳生旅日記』（編 金鈴社編集部 金鈴社 一九四九年）
- ・『水戸黄門』（編 金鈴社編集部 金鈴社 一九四九年）

一〇、名作童話 玄文社 一九四九年

- ・『良寛さま』（原田勘平 絵 本間莞彩 玄文社 一九四九年）

一一、少年少女名作文庫 英研社 一九四九年

- ・『朗らか道中 弥次さん北さん』（西原太朗 英研社 一九四九年）

一二、世界おとぎ文庫 小峰書店 全二二巻 一九四九年～一九五〇年

- ・『羅生門の鬼 日本古譚集』（楠山正雄 絵 鴨下晃湖 小峰書店 一九五〇年）

店 一九五〇年)

今昔物語の話、平家物語の話

一三、世界名作全集 全一八〇巻 講談社 一九五〇年〜一九六二年)

・『源平盛衰記』(太田黒克彦 絵 山口将吉郎 講談社 一九五二年)

・『義経物語』(佐藤一英 絵 山口将吉郎 講談社 一九五七年)
・『八犬伝物語』(山手樹一郎 絵 玉井徳太郎 講談社 一九五二年)

・『太閤記』(高野正巳 絵 玉井徳太郎 講談社 一九五八年)
・『雨月物語』(福田清人 絵 鴨下晁湖 講談社 一九五八年)
・『日本神話物語』(佐藤一英 絵 斉藤五百枝 講談社 一九五八年)

・『曾我兄弟物語』(村松定孝 絵 真野満 講談社 一九五五年)
・『膝栗毛物語』(西山敏夫 絵 矢車涼 講談社 一九五七年)
・『平家物語』(高野正巳 絵 木俣清史 講談社 一九五八年)
・『太平記物語』(太田黒克彦 絵 矢島健三 講談社 一九五六年)

・『源氏物語』(佐藤一英 絵 佐多芳郎 講談社 一九六〇年)

・一四、世界名作童話全集 全六〇巻 講談社 一九五〇年〜一

九五五年

・『かくや姫 日本昔話』(坪田譲治 編著 大石哲路 絵 講談社 一九五五年)

・『日本むかし話集』
さわよむどんのうなぎつり、一すんぼうし(お伽草子)おわんの、こぶとりじいさん(宇治拾遺物語)、だんごとおじぞうさま、うりこひめとあまんじやく、ぼうさまの木、ふしぎなもち、たべられたおにばんば、オンゴロとネンゴロとノロ、りゆうぐうの黒ねこ、

・『いなばの白うさぎ』(大木雄二 絵 黒崎義介 講談社 一九五一年)

・『安寿と厨子王 日本伝説』(徳永寿美子 絵 大石哲路 一九五三年)

一五、中学生全集 全一〇〇巻 筑摩書房 一九五〇年〜一九五一年

・『謡曲物語』(戸川秋骨 絵 松野奏風 筑摩書房 一九五〇年)
・『狂言物語』(三宅藤九郎 筑摩書房 一九五一年)
・『万葉集の話』(土屋文明 絵 加藤洵綾 筑摩書房 一九五一年)

・『平家物語』(永積安明 絵 岡本爽太 筑摩書房 一九五二年)
・『八犬伝ものがたり』(高木卓 絵 太田大八 筑摩書房 一九

五二年)

・『古今と新古今』(窪田章一郎 筑摩書房 一九五三年)

一六、新児童文庫 三十書房 一九五〇年～一九五一年

・『かぐや姫』(中里恒子 絵 初山滋 三十書房 一九五一年)

一七、少年文庫 あかね書房 一九五〇年～一九五一年

・『里見八犬伝』(久米正雄 あかね書房 不明)

・『太閤記』(古川洋三 絵 新井五郎 あかね書房 一九五一年)

・『宮本武蔵』(大屋典一 絵 斎藤五百枝 あかね書房 一九五一年)

・『山中鹿之介』(中山義秀 絵 あかね書房 一九五一年)

一八、世界童話文庫 全二〇〇巻+別巻あり 潮文閣 一九五一年

・『かぐや姫』(村岡花子 絵 三谷一馬 潮文閣 一九五一年)

・『安寿と厨子王』(村岡花子 絵 三谷一馬 潮文閣 一九五一年)

・『牛若丸の冒険』(高島正恵 絵 三谷一馬 潮文閣 一九五一年)

・『浦島太郎』(不明)

・『一寸法師』(不明)

・『日本童話集 おもしろい話の巻(別1)』(高島正恵 潮文閣

一九五二年)

ヨミノクニの話(古事記)、天の岩戸(古事記)、やまたのおろち(古事記)、因幡の白兔(古事記)、大国主神(古事記)少彦神(古事記)、天の稚彦(古事記)、伊那佐の小浜(古事記)、猿田彦神(日本書紀)、笠沙の崎(古事記)、海幸山幸(古事記)、安倍晴明(今昔物語)、地獄をあらす男たち、野原の魔法(今昔物語)、化物草紙(お伽草子)、百鬼夜行(宇治拾遺物語)、一寸法師(お伽草子)、くらげの使、芋粥の話(今昔物語)藤袋の草子(お伽草子)、俵藤太(お伽草子)、酒吞童子(お伽草子)、鬼の腕(平家物語)、鎮西八郎(保元物語)、鬼界が島(平家物語)、鶴退治(源平盛衰記)重盛と宗盛(平家物語)鞍馬天狗(謡曲)梅若丸(秋の夜長物語)、武藏坊弁慶(義経記)、鴉鷲合戦、文覚上人(平家物語)、御曹子島渡り(お伽草子)、義経都落(平家物語)、玉水物語(お伽草子)、吾子法師(古今著聞集)、隠れ里の話(お伽草子)、猫の草紙(お伽草子)、靈魂の帰宅(お伽草子)、天狗の兵法、うそばかりの話(西鶴諸国噺)、盲の一心(西鶴諸国噺)、生馬仙人(西鶴諸国噺)、文福茶釜、孫七天竺物語、膝栗毛(東海道中膝栗毛)

・『日本童話集 美しい話の巻8(別2)』(高島正恵 潮文閣 一九五二年)

藤の華(古事記)、杜若と都鳥(伊勢物語)、夢の鯉(雨月物語)、雀のひょうたん(宇治拾遺物語)、笛と盗賊(古今著聞集)、美し

い心（古今著聞集）、伊勢の歌（今昔物語）、小さな歌人（土佐日記）、菊あわせ（古今著聞集）、桃太郎、浦島太郎（お伽草子）、葦屋処女（万葉集）、蛇のお嫁になった娘（お伽草子）、さざれ石（お伽草子）、天の羽衣（一）（風土記）、天の羽衣（二）（風土記）、天の羽衣（三）（本朝神社考）、羽衣（四）（謡曲）、生田川（大和物語）、ひばり山（謡曲）、文正草子（お伽草子）、可哀そうな花世姫（お伽草子）、露の宮（お伽草子）、かぐや姫（竹取物語）、前栽あわせ、貝あわせ（堤中納言物語）、虫を可愛がる姫君（堤中納言物語）、こおろぎ草子（お伽草子）、少年頼朝（平治物語）、薩摩守の話（平家物語）、青葉の笛、能勢猿草子（お伽草子）、凡天国（お伽草子）竜宮城、ひげのくに（お伽草子）、足柄の山（狗張子）、滄浪の国（狗張子）、辛糸草子（お伽草子）、牛若丸（義経記）、春栄丸（謡曲）、里見八犬伝（南総里見八犬伝）喜見城、ローマへいつた少年使節

・『日本童話集 ためになる話の巻』（高島正恵 潮文閣 一九五二年）

不思議な人形（今昔物語）、武士と袴垂（宇治拾遺物語）、海賊と老僧（宇治拾遺物語）、飛驒の猿神（今昔物語）、高陽川の狐（今昔物語）、闇夜の赤ん坊（今昔物語）、猿の恩返し（今昔物語）、こぶ取り爺さん（宇治拾遺物語）蟻通し（枕草子）、小鳥をとらない鷹（古今著聞集）、猿とお経（古今著聞集）、蹴鞠の名人（古今著聞集）、改心した小殿（古今著聞集）、天竺冠者（古今著聞集）、

説教を聞きにきた山賊（古今著聞集）、いざりと釜（古今著聞集）、美女の怪盗（古今著聞集）、幸福な人（古今著聞集）、ずるい坊さん（堤中納言物語）、物臭太郎、悪い鬼坊主（古今著聞集）、人取り狸（古今著聞集）、化け物屋敷の唯連坊（古今著聞集）、三人の法師（お伽草子）、高慢な角力取り（古今著聞集）、頼朝と長居（古今著聞集）、渡辺番（古今著聞集）、走る細工船（狗張子）、一生の夢をみた男（お伽草子）、十津川物語、西行法師（古今著聞集）、松若丸と法力（謡曲）、鉢の木（謡曲）、おうぎの的（平家物語）、青砥左衛門（太平記）、梅律の長者、木曾義仲（平家物語）、源兄弟の争い（義経記）、六代御前（平家物語）、小判と人形（本朝桜陰秘事）、伊勢小僧（本朝桜陰秘事）、貧乏神（本朝桜陰秘事）、金をひろう男（西鶴諸国噺）、甘藷先生（先哲叢談）、佛佐吉、千島の大亀（兎園小説）、家の宝（西鶴諸国噺）、太鼓の耳（西鶴諸国噺）、欲の壺（西鶴諸国噺）、塩売り楽介（織留）、佛の首（俗つれづれ）、酒の罪（俗つれづれ）、ふたつの家庭（武家義理物語）、一枚の小判（西鶴諸国噺）、川端九助（日本永代蔵）、鯨突きのお源内（日本永代蔵）、二宮金次郎、桜田門の雪、自由は死なず、人類の恩人

一九、岩波少年文庫（第一期、第二期）全一九三巻 岩波書店 一九五一年～一九六一年

・『古事記物語』（福永武彦 絵 吉岡賢二 岩波書店 一九五七年）

・『日本民話選』（木下順二 絵 吉井忠 岩波書店 一九五八年）

二〇、玉川少年少女文庫偉人叢書 全二九巻 玉川大学出版部
一九五一年

・『良寛』（栗原登 玉川大学出版部 一九五一年）

・『一茶』（寺園純夫 玉川大学出版部 不明）

・『日本の童話』（岡田陽 玉川大学出版部 不明）

二一、世界名作文庫 全一四〇巻 偕成社 一九五一年～一九五六年

・『太閤記』（北村謙次郎 絵 安以行孝 偕成社 一九五五年）

・『保元平治物語』（北村謙次郎 絵 矢島健三 偕成社 一九五五年）

五年）

・『更級日記』（伊馬春部 絵 羽石光志 偕成社 一九五六年）

・『竹取物語・落窪物語』（北村謙次郎 絵 池田かずお 偕成社 一九五二年）

一九五二年）

・『歌舞伎物語』（円地文子 絵 国保広治 偕成社 一九五三年）

・『東海道膝栗毛』（高木卓 絵 川原久仁於 偕成社 一九五三年）

年）

・『古事記物語』（福田清人 絵 西村保史郎 偕成社 一九五三年）

年）

・『雨月物語』（森三千代 絵 伊藤幾久造 偕成社 一九五二年）

・『里見八犬伝』（加藤武雄 絵 伊藤幾久造 偕成社 一九五一年）

・『源氏物語』（福田清人 絵 羽石光志 偕成社 一九五一年）

・『平家物語』（北村謙次郎 絵 羽石光志 偕成社 一九五二年）

・『曾我物語』（中山光義 絵 安以行孝 偕成社 一九五三年）

・『今昔物語』（浅野晃 絵 多賀正 偕成社 一九五三年）

・『弓張月』（福田清人 絵 矢島健三 偕成社 一九五四年）

・『忠臣蔵』（吉田与志雄 絵 矢島健三 偕成社 一九五四年）

・『太平記』（中山 光義 絵 木俣清史 偕成社 一九五四年）

二二、世界名作物語 全四〇巻 ポプラ社 一九五二年～一九五五年

・『雨月物語』（野口活 絵 土村正寿 ポプラ社 一九五三年）

・『平家物語』（高野正巳 絵 土村正寿 ポプラ社 一九五三年）

・『古事記物語』（鈴木三重吉 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五二年）

二年）

・『おとぎ草子』（円地文子 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五二年）

年）

・『宇治拾遺物語』（横山青娥 絵 織田音也 ポプラ社 一九五三年）

年）

・『源平盛衰記』（菊池寛 絵 岡本爽太 ポプラ社 一九五二年）

・『竹取物語』（円地文子 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五四年）

・『今昔物語』（和田傳 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五五年）

二三、**少年少女名作文庫 妙義出版社 一九五二年～一九五三年**

・『里見八犬伝 上』（大隈三好 妙義出版社 一九五二年）

・『里見八犬伝 下』（大隈三好 妙義出版社 一九五三年）

・『太平記』（鷲尾雨工 妙義出版社 一九五二年）

二四、**少年少女日本名作選 誠文堂新光社 一九五二年～一九五三年**

・『かぐや姫・虫姫』（中村小坡他 絵 高井貞二 誠文堂新光社 一九五二年）

・『義経記』（宮津博 絵 西田勝 誠文堂新光社 一九五二年）

・『おとぎ草子』（堀尾勉 絵 朝倉撰 誠文堂新光社 一九五二年）

・『さらしな日記』（森比左志 絵 堀文子 誠文堂新光社 一九五二年）

・『東海道膝栗毛』（天満二郎 絵 油野誠一 誠文堂新光社 一九五二年）

・『平家物語』（北条誠 絵 風間完 誠文堂新光社 一九五二年）

・『保元平治物語』（山田豊・長谷川力 絵 山本舜山 誠文堂新光社 一九五三年）

・『弓張月物語』（山中峯太郎 絵 西田勝 絵 誠文堂新光社 一九五三年）

・『雨月物語』（佐藤義美 絵 風間完 誠文堂新光社 一九五三年）

※『八犬伝』（西山敏夫 誠文堂新光社 不明）

※『栄華物語』（中里恒子 誠文堂新光社 不明）

※『鉢の木・棒しばり』（渋沢青花 誠文堂新光社 不明）

※『保元平治物語』（同上）の目録で確認するが、その後は、目録に書いてない。

二五、**少年講談 全一〇巻 照林社 一九五二年～一九五四年**

・『大久保彦左衛門』（松雲寺健 照林社 一九五二年）

・『一休さん』（東野正雄 照林社 一九五二年）

・『少年太閤記』（東野正雄 照林社 一九五二年）

・『水戸黄門漫遊記』（東野正雄 照林社 一九五二年）

二六、**国語と文学の教室 全二八巻 福村書店 一九五二年～一九五九年**

・『源氏物語』（風巻景次郎 福村書店 一九五二年）

・『能狂言』（田中允 福村書店 一九五二年）

・『徒然草』（永積安明 福村書店 一九五二年）

・『西鶴』（森山重雄 福村書店 一九五七年）

・『万葉集』（高木市之助 絵 鈴木正二 福村書店 一九五二年）

・『近松』（野田寿雄 福村書店 一九五六年）

・『土佐・更級日記』（佐山濟 福村書店 一九五六年）

・『平家物語』（谷宏 福村書店 一九五二年）

・『芭蕉』（広末保 絵 鈴木正二 福村書店 一九五六年）

二七、少年読物文庫 同和春秋社 一九五二年～一九五九年

・『源義経』（楠山正雄 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五二年）

・『山椒太夫』（高野正巳 絵 川田清美 同和春秋社 一九五四年）

・『横笛草子・おとぎ草子』（二反長半 絵 織田観潮 同和春秋社 一九五三年）

・『源平盛衰記』（坪田譲治 絵 米内穂豊 同和春秋社 一九五二年）

・『銭屋五兵衛』（久保田正衛 絵 福田青甫 同和春秋社 一九五二年）

・『弓張月・鎮西八郎為朝外伝』（渋沢青花 絵 米内穂豊 同和春秋社 一九五四年）

・『加賀の千代女』（川島つゆ 絵 羽石光志 同和春秋社 一九五三年）

・『国性爺合戦』物語 日本演劇鑑賞』（河竹繁俊 絵 鳥居忠雄 同和春秋社 一九五五年）

・『戦国の武士 常山紀談物語』（西川清治 絵 米内穂豊 同和春秋社 一九五九年）

・『一茶物語』（荻原井泉水 絵 鈴木信太郎 同和春秋社 一九五四年）

・『東海道中ひざくり毛』（高藤武馬 絵 宮尾しげを 同和春秋社 一九五二年）

二八、児童文庫 カバヤ児童文化研究所 一九五二年～一九五四年

・『安寿姫』（カバヤ児童文化研究所 一九五三年）

・『風雲源平合戦』（カバヤ児童文化研究所 一九五三年）

・『里見八犬伝』（カバヤ児童文化研究所 一九五三年）

・『おむすびころりん 日本昔話』（カバヤ児童文化研究所 一九五三年）

二九、偉人伝文庫 全一〇〇巻 ポプラ社 一九五二年～一九五九年

・『清少納言 王朝の秀華』（横山青娥 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五九年）

・『紫式部 平安京の佳人』（横山青娥 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五九年）

・『良寛 慈愛の僧』（吉田絃二郎 絵 大石哲路 ポプラ社 一九五二年）

・『一茶 さすらいの詩人』（横山青娥 絵 岩崎年勝 ポプラ社 一九五九年）

・『源義経 非運の武人』（太田黒克彦 絵 伊藤幾久造 ポプラ社 一九五三年）

・『芭蕉 不滅の俳聖』（窪田空穂 絵 大石哲路 ポプラ社 一九五八年）

・『近松門左衛門 東洋の沙翁』（横山青娥 絵 織田音也 ポプラ社 一九五九年）

・『加賀の千代 純情の女流俳人』（工清定 絵 織田音也 ポプラ社 一九五八年）

・『宮本武蔵 放浪の巨人』（二色次郎 絵 矢島健三 ポプラ社 一九五九年）

・『豊臣秀吉 乱世統一の英雄』（福田清人 絵 土村正寿 ポプラ社 一九五八年）

三〇、世界少年少女文学全集 全五〇巻 東京創元社 一九五三年〜一九五六年

・『日本編1』（坪田譲治 絵 中尾彰 東京創元社 一九五四年）
日本童話集

・『日本編2』（川端康成訳者代表 絵 井上三綱 東京創元社 一九五四年）

古事記物語（林房雄）、竹取物語（川端康成）、今昔物語（片桐顕智）、堤中納言物語（中村正爾）、宇治拾遺物語（片桐顕智）、義経記（高木卓）、おとぎ草子（堀尾勉）、雨月物語（堀尾勉）

・『日本編4』（訳 林房雄他 絵 久米宏一・福田貂太郎・茂田井武 一九五六年）

落窪物語（中村正爾）、平家物語（富倉徳次郎）、中世説話物語（井本農一）、曾我物語（高木卓）、西鶴諸国噺（杉森久英）、東海道中膝栗毛（野上彰）、弓張月物語（林房雄）

三一、日本伝承民俗童話全集 全六巻 河出書房 一九五三年

・『日本伝承民俗童話全集 国民童話篇（第6巻）』（藤澤衛彦 河出書房 一九五三年）

日本のはじめ、瘤とり（宇治拾遺物語）、八岐のオロチ（古事記）、金太郎、因幡の白兔（古事記）、大江山、出雲みやばしら、はちかつぎ姫（お伽草子）、栗の実ぼろぼろ茎びゅうん、一寸法師（お伽草子）、あかい根の葦、花咲じじい、かぐや姫（竹取物語）、桃太郎、貧女王の大宴会、舌切り雀、浦島太郎（お伽草子）、ぼんてん国（お伽草子）

三二、知識文庫 ポプラ社 一九五三年〜一九五六年

・『古典文学教室』（円地文子 ポプラ社 一九五六年）
・『私たちの風土記』（読売新聞社婦人部 ポプラ社 一九五三年）
・『万葉集物語』（窪田章一郎 絵 村田閑 ポプラ社 一九五四年）

三三、保育社の名作絵文庫 全三〇巻 保育社 一九五三年～一九五六年

・『かぐやひめ』(編 保育社編集部 絵 石津博典 保育社 一九五六年)

・『八大伝』(編 保育社編集部 絵 石津博典 保育社 一九五四年)

・『あんじゅとずしおう』(編 保育社編集部 絵 石津博典 保育社 一九五四年)

三四、日本名作物語(日本名作全集) 黎明社 一九五四年～一九五六年

・『真田三代記』(仁科春彦 絵 堀万太郎 黎明社 一九五五年)

・『雨月物語』(村松千代 絵 大石哲路 黎明社 一九五五年)

・『水戸黄門漫遊記』(長谷川幹夫 絵 堀万太郎 黎明社 一九五五年)

・『源氏物語』(堀寿子 絵 大石哲路 黎明社 一九五五年)

・『義経物語』(仁科春彦 絵 土村正寿 黎明社 一九五四年)

・『里見八犬伝』(渡辺哲夫 絵 土村正寿 黎明社 一九五四年)

・『曾我物語』(長谷川幹夫 絵 土村正寿 黎明社 一九五四年)

・『太閤記』(東野達夫 絵 土村正寿 黎明社 一九五四年)

・『赤穂義士』(中島薄紅 絵 土村正寿 黎明社 一九五四年)

・『川中島合戦』(仁科春彦 絵 土村正寿 黎明社 一九五五年)

・『弥次喜多道中記』(東野達夫 絵 高野てつじ 黎明社 一九五五年)

・『安寿と厨子王』(松松千代 絵 土村正寿 黎明社 一九五三年)

三五、少年講談全集 全三〇巻 講談社 一九五四年～一九五五年

・『水戸黄門漫遊記』(編 講談社 絵 矢車涼 講談社 一九五四年)

・『太閤秀吉』(編 講談社 絵 伊藤幾久造 講談社 一九五五年)

・『宮本武蔵』(編 講談社 絵 木俣清史 講談社 一九五五年)

・『里見八犬伝』(編 講談社 絵 矢島健三 講談社 一九五五年)

・『柳生十兵衛』(編 講談社 絵 日下香之助 講談社 一九五五年)

・『一休和尚』(編 講談社 絵 横塚繁 講談社 一九五五年)

・『弥次喜多道中記』(編 講談社 絵 前谷惟光 講談社 一九五五年)

・『曾我兄弟』(編 講談社 絵 木保清史 講談社 一九五五年)

三六、少年痛快講談全集 全一五巻 太陽少年社 一九五四年～

一九五五年

・『水戸黄門漫遊記』(編 少年痛快講談編集部 絵 伊藤幾久造 太陽少年社 一九五四年)

・『柳生十兵衛』(編 少年痛快講談編集部 絵 柳瀬茂 太陽少年社 一九五四年)

・『大岡越前守』(編 少年痛快講談編集部 太陽少年社 一九五四年)

・『大久保彦左衛門』(編 少年痛快講談編集部 絵 土端一美 太陽少年社 一九五四年)

・『里見八犬伝』(編 少年痛快講談編集部 絵 矢島健三 太陽少年社 一九五四年)

・『宮本武蔵』(編 少年痛快講談編集部 絵 木保清史 太陽少年社 一九五四年)

三七、小学館の幼年文庫 全四〇巻 小学館 一九五四年～一九五九年

・『かぐやひめ』(久米元一 絵 黒崎義介 小学館 一九五四年)

・『あんじゅとずしおう』(浜田広介 絵 蒔田虹児 小学館 一九五四年)

・『うしわかまる』(後藤樽根 絵 黒崎義介 小学館 一九五四年)

・『良寛さま』(川上四郎 小学館 一九五五年)

・『一茶さん』(川島つゆ 絵 川上四郎 小学館 一九五八年)

・『ひよしまる』(筒井敏雄 絵 石田英助 小学館 一九五四年)

・『日本昔話 第一集』(浜田広介 絵 武井武雄 一九五二年)

はごろも、はちかつぎひめ(お伽草子) 海さち山さち(古事記)、
俵藤食(お伽草子)

・『日本昔話 第二集』(西山敏夫 絵 黒崎洋介 林義雄 小学館 一九五三年)

うりこひめとあまのじやく、さるのしつぽはなぜみじかい、かくれみのとかくれがさ、かつばときゅうり、きつねのたから、ごんべえさんのそらのたび、なまけものとかぼん

三八、日本少年少女名作全集 全二〇巻 河出書房 一九五四年～一九五九年

・『少年太閤記・左近右近』(吉川英治 絵 羽石光志 河出書房 一九五五年)

三九、実録時代小説 偕成社 全四〇巻 一九五四年～一九五八年

・『黄門漫遊記』(北村謙次郎 絵 矢島健三 偕成社 一九五五年)

・『赤穂浪士』(沙羅双樹 絵 伊藤幾久造 偕成社 一九五五年)

・『太閤秀吉』(中山光義 絵 今村恒美 偕成社 一九五五年)

・『大岡越前守』（吉田与志雄 絵 奈良葉二 偕成社 一九五五年）

・『宮本武蔵——無双二刀流』（小山勝清 偕成社 一九五六年）

・『風雲児義経』（沙羅双樹 絵 矢島健三 偕成社 一九五六年）

・『曾我兄弟』（朝島靖之助 絵 柳瀬茂 偕成社 一九五六年）

・『一休和尚』（野田開作 絵 木保清史 偕成社 一九五六年）

・『大久保彦左衛門』（中山光義 絵 木保清史 偕成社 一九五六年）

・『鎮西八郎為朝』（小山勝清 絵 柳瀬茂 偕成社 一九五八年）

四〇、児童名作全集 全七〇巻 偕成社 一九五五年～一九六一年

・『太閤記物語』（山本和夫 絵 鈴木寿雄 偕成社 一九五五年）

・『かぐや姫』（田島順子 絵 駒宮緑朗 偕成社 一九五五年）

・『安寿とずし王』（宮脇紀 絵 新田五郎 偕成社 一九五六年）

・『義経ものがたり』（浜田広介 絵 羽石光志 偕成社 一九五六年）

・『曾我ものがたり』（打木村治 絵 駒宮緑郎 偕成社 一九五六年）

・『つるの恩がえし』（徳永寿美子 絵 羽石光志 偕成社 一九五六年）

・『日本の神話』（山本和夫 偕成社 一九五六年）

・『源平ものがたり』（朝島靖之助 絵 太賀正 偕成社 一九五七年）

・『らしよう門の鬼』（山本和夫 絵 駒宮緑朗 偕成社 一九五七年）

・『為朝ものがたり』（朝島靖之助 絵 新井五郎 偕成社 一九五七年）

・『八犬伝ものがたり』（北村謙次郎 絵 石井健之 偕成社 一九五七年）

四一、幼年世界名作全集 全二〇巻 あかね書房 一九五五年～一九六〇年

・『かぐや姫』（松谷みよこ 絵 石井健之 偕成社 一九五九年）

四二、名作物語文庫 全三五巻 講談社 一九五五年

・『太閤記物語』（氏原大作 絵 尾形礼正 講談社 一九五五年）

・『八犬伝物語』（園城寺健 絵 石黒泰治 講談社 一九五五年）

・『曾我物語』（氏原大作 絵 尾形礼正 講談社 一九五五年）

・『弓張月物語』（平井芳夫 絵 村田閑 講談社 一九五五年）

・『竹取物語』（小野忠孝 絵 尾形礼正 講談社 一九五五年）

・『義経物語』（園城寺健 絵 米内穂豊 講談社 一九五五年）

四三、お話博物館 全六九巻 実業之日本社 一九五五年～一九

五九年

- ・『源平ものがたり』(渡辺保 絵 柴宗広 実業之日本社 一九五五年)

- ・『古事記ものがたり』(西山敏夫 絵 野口義恵 実業之日本社 一九五七年)

四四、少年・日本武人物語 黎明社 一九五五年

- ・『宮本武蔵』(中島德行 絵 久米宏一 黎明社 一九五五年)
- ・『木曾義仲』(中島德行 絵 土村正寿 黎明社 一九五六年)
- ・『織田信長』(中島德行 絵 山崎百々雄 黎明社 一九五六年)

四五、世界の名作 全二六巻 筑摩書房 一九五六年〜一九五八年

- ・『少年太閤記』(花村燮 絵 岡本爽太 筑摩書房 一九五六年)
- ・『一休さん』(伊馬春部 絵 茂田井武 筑摩書房 一九五六年)
- ・『少年宮本武蔵』(小山勝清 絵 村田閑絵 筑摩書房 一九五七年)

- ・『続 少年太閤記』(花村燮 絵 関合正明 筑摩書房 一九五八年)

四六、日本少年少女古典文学全集 全二九巻 弘文堂 一九五六年〜一九六一年

- ・『日本神話物語』(風巻景次郎 絵 片岡球子 弘文堂 一九五七年)

- ・『かぐや姫・更級日記・宇津保物語』(円地文子 絵 片岡球子 弘文堂 一九五七年)

- ・『万葉集物語』(田辺幸雄 絵 福田久也 弘文堂 一九五七年)

- ・『落窪物語』(戸川高志 絵 勝本富士雄 弘文堂 一九五七

- ・『今昔物語・宇治拾遺物語』(神田秀夫 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九五七年)

- ・『為朝物語 保元・平治物語』(井本農一 絵 笠井一 弘文堂 一九五七年)

- ・『平家物語』(坪田譲治 絵 古沢岩美 弘文堂 一九五六年)

- ・『曾我兄弟物語』(河竹繁俊 絵 伊藤好一郎 弘文堂 一九五六年)

- ・『お能・狂言物語』(野上弥生子 絵 小林勇 弘文堂 一九五六年)

- ・『西鶴物語』(編 麻生磯次 絵 福田久也 弘文堂 一九五七年)

- ・『里見八犬伝物語』(高藤武馬 絵 古沢岩美 弘文堂 一九五七年)

- ・『膝栗毛物語』(杉森久英 絵 伊藤好一郎 弘文堂 一九五七年)

- ・『風土記物語』(神田秀夫 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九五八

年)

- ・『源氏物語』(神田秀夫 絵 片岡球子 弘文堂 一九五八年)
- ・『義経・弁慶物語』(高木卓 絵 佐久間阿佐緒 弘文堂 一九五八年)

- ・『太閤記物語』(高藤武馬 絵 伊藤好一郎 弘文堂 一九五九年)

- ・『おとぎ草子物語』(市古貞次 絵 羽石光志 弘文堂 一九五八年)

- ・『芭蕉物語』(麻生磯次 絵 福田久也 弘文堂 一九五九年)
- ・『近松物語』(円地文子 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九五八年)
- ・『忠臣蔵物語』(河竹繁俊 絵 山本舜山 弘文堂 一九五八年)
- ・『雨月・春雨物語』(編 森三千代 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九五八年)

- ・『日本民話物語』(坪田譲治 絵 伊藤好一郎 弘文堂 一九五八年)

- ・『枕草子物語』(森三千代 絵 笠井一 弘文堂 一九六〇年)
- ・『大鏡・増鏡物語』(島田良二 絵 福田久也 弘文堂 一九六〇年)

- ・『宇治拾遺物語』(久保喬 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九六一

- ・『太平記物語』(松田武夫 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九六〇年)

- ・『徒然草物語』(麻生磯次 絵 福田久也 弘文堂 一九六〇年)

- ・『和歌物語』(大野茂男 絵 福田杜子夫 弘文堂 一九六〇年)
- ・『俳句物語』(小高俊郎 絵 伊藤好一郎 弘文堂 一九六〇年)

四七、日本古典童話全集 全八巻 小峰書房 一九五六年

- ・『あまの岩戸』(平塚武二 絵 井口文秀 一九五六年)
- 古事記、風土記

- ・『かぐや姫』(奈街三郎 絵 鈴木寿雄 一九五六年)
- 竹取物語、字津保物語、堤中納言物語、更級日記、土佐日記、枕草子

- ・『さるの恩がえし』(岡本良雄・鈴木隆 絵 輪島清隆・池田仙三郎 小峰書店 一九五一年)

今昔物語、日本靈異記

- ・『扇まと』(水藤春夫・関英雄・小林純一 絵 太田大八・市川禎男・片岡京二 小峰書店 一九五六年)

平家物語、義経記、曾我物語

- ・『五色のしか』(柴野民三・神戸淳吉 絵 斉藤博之・片岡京二 小峰書店 一九五六年)

宇治拾遺物語、徒然草、古今著聞集、十訓抄

- ・『はちかつぎ』(佐藤義美・与田準一・水藤春夫 小峰書店 一九五六年)

おとぎ草子、謡曲・狂言

・『千里ヶ竹の虎』（前川康男・猪野省三・紫野民三・水藤春夫・岡本良雄 絵 輪島清隆・石井健之・北田卓史 小峰書店 一九五六年）

国性爺合戦、西鶴諸国ばなし、鳩翁道話、耳ぶくろ、雲萍雑誌、おあむ物語、しかの巻筆、囃物語、随筆寓意草、しみのすみか物語

・『鯉になったおしょうさん』（与田準一・鈴木隆・岡本良雄 絵

井口文秀・斉藤博之・北田卓史 小峰書店 一九五六年）

雨月物語、東海道中膝栗毛、東・西遊記

四八、ばくたちの研究室 もいろいろのケース（文学） 全九巻

さ・え・ら書房 一九五六年～一九六三年

・『私たちの万葉集』（石田佐久馬 さ・え・ら書房 一九五六年）

・『和歌ものがたり』（佐佐木信綱 さ・え・ら書房 一九五六年）

・『私たちの日本文学 古典の巻』（石田佐久馬 さ・え・ら書房

一九五六年）

虫めずる姫君、ひざ栗毛、日本文学のあらまし、新今昔のうた、古事記のはなし、平家物語、風土記の伝説、童話のおこり、万葉のうた、つれづれ草、かぐや姫、能と狂言、古今和歌集、万寿の姫、土佐日記と更級日記、芭蕉と一茶、源氏物語、川柳のはなし、春はあけぼの、良寛さま

四九、中学生の古典文学 全七巻 至文堂 一九五六年～一九五七年

・『雨月物語』（宇佐美喜三八 至文堂 一九五七年）

・『今昔物語』（清水重道 至文堂 一九五六年）

・『東海道中膝栗毛』（土井重義 至文堂 一九五七年）

・『竹取物語』（石川徹 至文堂 一九五六年）

・『一茶ものがたり』（中島斌雄 至文堂 一九五六年）

・『芭蕉』（小島政二郎 至文堂 不明）

・『平家物語』（佐々木八郎 至文堂 不明）

五〇、初級世界名作童話 全二二巻 泰光堂 一九五六年～一九五九年

・『今昔物語』（編 萩原一学 絵 横川洋 泰光堂 一九五八年）

・『日本むかしばなし』（奈街三郎 絵 松井行正 泰光堂 一九五六年）

母子ぐさ、たからくらべ、うそつきたろう、千本のはりと千のひょうたん、とんびのかんざし、さるかにともち、ぼたもちくわん、きつねのちようちん、「こだま」のはじまり、ひょうとくさま、うすばかのたろう、ふるやもり、うぐいすひめ、山になれ川になれ！、なかよしのふなとかも、かもめやさかなの友だち、さるかにかっせん、はちがつぎひめ（お伽草子）

五一、少年少女のための国民文学 全二八巻 福村書店 一九五

六年〜一九六一年

- ・『古事記・万葉集』（福田清人 絵 浜田台児 福村書店 一九五六年）
- ・『平安朝名作集』（木俣修 絵 田中佐一郎 福村書店 一九五六年）
- 竹取物語、落窪物語、堤中納言物語
- ・『東海道中膝栗毛』（福田清人 絵 河野通明 福村書店 一九五六年）
- ・『今昔物語』（木俣修 絵 東光寺啓 福村書店 一九五七年）
- ・『太平記』（高野正巳 絵 東光寺啓 福村書店 一九五七年）
- ・『太閤記』（伊藤佐喜雄 絵 東光寺啓 福村書店 一九五七年）
- ・『土佐・更級日記』（井上豊 絵 山本舜山 福村書店 一九六一年）
- ・『将門記』（高見君恵 絵 梶鮎太 福村書店 一九六四年）
- ・『源平盛衰記』（庭山積 絵 山本舜山 福村書店 一九六一年）
- ・『源氏物語』（木俣修 絵 田中佐一郎 福村書店 一九五六年）
- ・『椿説弓張月』（松尾靖秋 絵 梶鮎太 福村書店 一九六一年）
- ・『軍記名作集』（福田清人 福村書店 一九五六年）
- 保元物語、平治物語、義経記
- ・『近世俳人物語』（那須辰造 絵 浜田台児 福村書店 一九五六年）
- 芭蕉物語、俳諧の話、詩人蕪村、女性俳人たち、俳諧寺一茶

・『武道伝来記 江戸名作集』（高野正巳 絵 鳥居清言 福村書店 一九五七年）

※『新今昔物語』（高見君恵 不明）

※『親鸞』（千輪慧 不明）

※『曾我物語』（木俣修 不明）

※『近松名作集』（宮脇紀雄 不明）

※『日本英雄伝』（福田清人 不明）

※『忠臣蔵』（村松定孝 不明）

※『謡曲狂言物語』（安藤常次郎 不明）

※『将門記』（前出）の目録に名前あり。逐次刊行、と書いてあることから、途中で中断された可能性が高い。

五二、たのしい日本歴史童話 ポプラ社 全一〇巻 一九五六年

〜一九五七年

- ・『やまたのおろち ― 神話・伝説物語』（監修 小川未明・浜田広介 絵 大石哲路 ポプラ社 一九五六年）
- あまのいわ戸（古事記）、やまたのおろち（古事記） オオクニノヌシノミコト（古事記）、てんぐ男とひらふ見（古事記）、タイムノケハヤとノミノスクネ（古事記）、たじまもり（古事記）、白いと（古事記）、ちいさこべのすがる（日本書紀）、まきばの王子（古事記）、まつらさよひめ
- ・『養老の滝 ― 飛鳥・奈良時代』（おのちゅうこう他 絵 大

石哲路他 ポプラ社 一九五六年)

しょうとくたいし、やまとの国の朝あけ、養老の滝(古今著聞集)、父のみがわり、若草山のおとめ、かえらぬ船のり、けんとうせん、和気の清麻呂、かみなりの子(日本霊異記)、山どりのおれい・『とうぞくと笛ふき』——平安朝前期時代』(沙羅双樹他 絵

大石哲路他 ポプラ社 一九五六年)

うでくらべ、あらなみとたたかう三十四日、かぐやひめ(竹取物語)、花をつむ尼、くらべ馬、におえ、梅の花、かえるのおしえ、鼻の内供のはなし(今昔物語)、とうぞくと笛吹き、オニにも負けない

・『らしょうもんの鬼』——平安朝後期時代』(土家由岐雄他 絵
大石哲路 ポプラ社 一九五六年)

オウムのおしえ、月夜のふえ、むらさきひめとスズメ(源氏物語)、たけしば寺(更級日記)、ワシにさらわれた子、らしよう門のオニ(太平記)、みなものよしいえ(平治物語)、弓のつよいためとも(保元物語)たいらのただもり(平家物語)、たいらのきよもり(平家物語)

・『おうぎのまと』——鎌倉時代』(船木枳郎他 絵 大石哲路他
ポプラ社 一九五六年)

牛わか丸(義経記)くもの巢、おうぎのまと(平家物語)、あらしにゆらぐ白い花、はちの木、にちれんしようにん、博多湾のあらし、わら人形とたたかう人たち(太平記)、三つのはこ、ほた

るまる

・『雪舟とねずみ』——室町時代』(長尾宏也他 絵 大石哲路他
ポプラ社 一九五七年)

金閣寺、つしまおとめ、雪舟とねずみ、にしきのけき、ひとり舞い、やまぶきのさと、土のだんご、ゾウのめたか、竹千代ぎみ、川中島の合戦

・『日吉丸』——安土桃山時代』(吉尾なつ子他 絵 大石哲路他
ポプラ社 一九五七年)

ゴアのやじろう、あばれんぼうたいしろう、日吉丸(太閤記)あけちさまのすけ、はじめてローマへ行った少年たち、ひとばんで城を、千利休、かとうきよまさ、よろこびは天に、いずものおくに

・『大岡さばき』——江戸前期』(石野径一郎他 絵 大石哲路他
ポプラ社 一九五七年)

日本につくした外国人、おきくのはなし、板倉さばき、あらきうしのすけ、リゴールの王様、ジャガタラ文、こくせんや(国性爺合戦)みとこうもん(水戸黄門)ばしうあん(松尾芭蕉)大岡さばき(大岡越前守)

・『めくらの大学者』——江戸後期』(長尾宏也他 絵 岩崎年勝)
いもせんせい、犬のでがら、てんぐこぞう、日本ちずのはなし、めくらの大学者、あらうみの人、かくれんぼ、心に星のひかる人、渡辺華山、大きな海をながれて

五三、学年別・幼年文庫 全六〇巻 偕成社 一九五六年〜一九六〇年

・『日本のむかし話 一年生』（大木雄二 絵 鈴木寿雄 偕成社 一九五六年）

すずめのひょうたん、あかんぼおじいさん、おだんごとこぶ、たぬきとたにし、しおふきうす、おいもころころ、さるのしつぽ、てんぐのうちわ、おむすびころりん、ふくろうのそめものや、そらへのぼったおやけさん、さるとじぞうさま、あまやんもり、そらをとぶくら（宇治拾遺物語）ねずみのよめいり、たぬきのしくじり、いぼとりこうしん、きょうとのかえるとおおさかのかえる（鳩翁道話）だまりくらべ

・『日本のむかし話 二年生』（大木雄二 絵 大石哲路 偕成社 一九五六年）

ころころだんご、うり子姫、きつねとくま、かさじぞうさま、くらげのおつかい、おにのおに六、うなぎつりのおじいさん、はごろも（謡曲）、はなたれこぞう、話しずきのとのさま、じぞうさまの田うえ、すもうとりとびんぼうがみ

・『日本のむかし話 三年生』（大木雄二 絵 新井五郎 偕成社 一九五六年）つるのおんがえし、さるとねことねずみ、ふしぎなはこ、わらしべちようじゃ（今昔物語集）、おぜんとおわん、かもとりごんべえ、さるのむこどの、かみなりの子、ゆりわかだ

いじん、しばらくじぞう、ねずみのほりもの、山うばとうまかた、三びきのあぶ、月のなかの子ども、うばすて山（今昔物語集）

・『日本のおとぎ話 一年生』（徳永寿美子 絵 鈴木寿雄 偕成社 一九五七年）

けちんぼとけちんぼ、ふじづるのこぶ、したきりすずめ（宇治拾遺物語）、はまぐりひめ（お伽草子）さるかにがっせん、あかいおわん、ねずみのすもう、かちかちやま、あまいかきしぶいかき、ももたろう、きつねのしくじり、こぶとりじいさん（宇治拾遺物語）、けんか、きんたろう、ながいなまえ、やねのめじるし

・『日本のおとぎ話 二年生』（徳永寿美子 絵 川島はるよ 偕成社 一九五七年）

ものぐさ太郎（お伽草子）、ぶんぶくちやがま、しったかぶり、大江山の鬼退治（お伽草子）、きつねうりとたぬきうり、花さかじじい、松山かがみ、いっすんぼうし（お伽草子）、だいいやとこばん、おけやのちえ、にげたおきやく、うぐいすひめ、ようろうのたき（古今著聞集）かなづち、かぐやひめ（竹取物語）

・『日本のおとぎ話 三年生』（徳永寿美子 絵 大石哲路 偕成社 一九五七年）

くずの葉ぎづね、たわらの藤太（お伽草子）どろぼうのしくじり、はちがつきひめ（お伽草子）、らしよう門のおに（太平記）いい名まえ、うめわかづか（謡曲）てんぐのかくれみの、のんきなきつね、まんじゅひめ（お伽草子）、あんじゅと厨子王、わる

ものぞろいの家、お話のたね

・『たのしい神話と伝説 一年生』（徳永寿美子 絵 林義雄 偕成社 一九五七年）

日本の神話伝説（古事記、風土記）

・『たのしい神話と伝説 二年生』（徳永寿美子 絵 高島華宵 偕成社 一九五七年）

日本の神話伝説（古事記）

・『たのしい神話と伝説 三年生』（徳永寿美子 絵 新井五郎 偕成社 一九五八年）

日本の神話伝説（古事記）

・『日本名作物語 一年生』（西山敏夫 絵 羽石光志 偕成社 一九五八年）

きのぼりのめいじん（徒然草）かぐやひめ（竹取物語）はやとり（風土記）はくがととうぞく（古今著聞集）おしのおうじ（古事記）もりながしんのう（太平記）まずしいじよおうさま（日本霊異記）さるとねことねずみ（お伽草子）たいこうきものがたり（太閤記）ひざくりげものがたり（東海道中膝栗毛）はちとくも（今昔物語）ふじのまきがり（曾我物語）あつもりとふえ（平家物語）しかをたすけた坊さん（宇治拾遺物語）ごはんのないすし（醒睡笑）

・『日本名作物語 二年生』（西山敏夫 絵 石井健之 偕成社 一九五九年）

もちのまと（風土記）、ゆめのねこ（更級日記）八犬伝ものがたり（南総里見八犬伝）やまとたけるのみこと（古事記）とうぞくをびつくりさせたひと（今昔物語集）日吉丸とかたな（太閤記）ひかりふしぎな石（北越雪譜）かのすもうとり（狂言）うらしまたろう（お伽草子）いおうりじいさん（西鶴織留）やしまのたたかい（平家物語）かまぬすびと（古今著聞集）

・『日本名作物語 三年生』（西山敏夫 絵 新井五郎 偕成社 一九六〇年）

わざくらべ（今昔物語）ふろのかまわり（東海道中膝栗毛）だんの浦のたたかい（平家物語）つるの草紙（お伽草子）くまわか丸（太平記）為朝ものがたり（弓張月）菊花のちぎり（雨月物語）大どろぼうと安昌（宇治拾遺物語）曾我きょうだい（曾我物語）

五四、たのしい名作物語 全五〇巻 ポプラ社 一九五七年

・『うしわか丸』（山本和夫 絵 沢井一三郎 ポプラ社 一九五七年）

・『てんによのはごろも』（城夏子 絵 沢井一三郎 ポプラ社 一九五七年）

・『かぐや姫』（富永次郎 絵 加賀山敬二 ポプラ社 一九五七年）

・『ひざくりげ』（花村獎 絵 村田閑 ポプラ社 一九五七年）
・『そが兄弟』（田中豊太郎 絵 沢井一三郎 ポプラ社 一九五

七年)

- ・『あんじゅ姫』(山本和夫 絵 村田閑 ポプラ社 一九五七年)
- ・『日本のむかしばなし』(田中豊太郎 絵 村田閑 ポプラ社 一九五七年)
- 古事記

五五、幼年名作全集 全二五巻 保育社 一九五七年〜一九五八年

- ・『あんじゅとずしおう』(井上英二 絵 富岡襄 保育社 一九五七年)

五六、少年少女物語文庫 全三〇巻 集英社 一九五七〜一九五九年

- ・『宮本武蔵』(朝島靖之助 絵 小林秀美 集英社 一九五七年)
- ・『赤穂義士物語』(今官一 絵 石原豪人 集英社 一九五七年)
- ・『太閤記』(宮脇紀雄 絵 木俣清史 集英社 一九五八年)
- ・『水戸黄門漫遊記』(志摩達夫 絵 小島剛夕 集英社 一九五八年)
- ・『佐々木小次郎』(朝島靖之助 絵 矢島健三 集英社 一九五七年)
- ・『弥次さん喜多さん』(清水基吉 絵 原やすお 集英社 一九五八年)

- ・『竹取物語』(三谷晴美 絵 河野きみ 集英社 一九五八年)
- 竹取物語、堤中納言物語、お伽草子

- ・『大岡越前守』(佐野孝 絵 伊藤幾久造 集英社 一九五八年)
- ・『柳生旅日記』(花村燐 絵 南村喬 集英社 一九五八年)
- ・『里見八犬伝』(植村諦 絵 片岡京二 集英社 一九五九年)
- ・『源九郎義経』(唐沢道隆 絵 伊勢良夫 集英社 一九五七年)
- ・『一休さん』(近藤健 絵 矢野高 集英社 一九五七年)
- ・『曾呂利新左衛門』(后藤有一 絵 原やすお 集英社 一九五七年)

五七、土曜日物語…子どものための日本の古典文学 東光出版社 一九五七年

- ・『土曜日物語 子どものための日本の古典文学』(福田清人 絵 太賀正 東光出版社 一九五七年)
- 文学の花園、天の岩戸(古事記)牧場の王子(古事記)富士と筑波(風土記)雷のさずけ子(日本霊異記)ひれふり山(万葉集)かぐや姫(竹取物語)若紫の巻(源氏物語)虫の大好きな姫(堤中納言物語)ふしぎな島の物語(今昔物語)海の旅路(土佐日記)陸の旅路(更級日記)春はあけぼの(枕草子)きもだめし(大鏡)旅の歌人西行(山家集)歌の將軍実朝(金槐集)弓の名人為朝(保元物語)待賢門のたたかい(平治物語)俊寛と有王(平家物語)阿新丸(太平記)吉野の静御前(義経記)曾我兄弟(曾我物語)

養老の滝（十訓抄）雀の恩がえし（宇治拾遺物語）出家した海賊（宇治拾遺物語）おくびよう男（古今著聞集）鉢の木（謡曲）二人大名（狂言記）酒吞童子（お伽草子）つれづれ草、芭蕉の生涯（奥の細道）一茶の生涯、国姓爺合戦（近松門左衛門）北海の人魚（西鶴・武道伝来記）夢応の鯉魚（雨月物語）東海道中膝栗毛（十返舎一九）芳流閣（里見八犬伝）

五八、ぺりかん写真文庫 平凡社 一九五七年

・『平家物語』（編）ぺりかん写真文庫編集部 平凡社 一九五七年）

五九、学級図書館 全一〇八巻 青葉書房 一九五七年～一九五八年

・『平家物語』（寒川武司 絵 稲田年行 青葉書房 一九五七年）
・『万葉集物語』（鈴木楊一 絵 木村鉄雄 青葉書房 一九五七年）

・『能と狂言』（岸すみれ 青葉書房 一九五八年）
・『小林一茶』（鈴木揚一 絵 稲田年行 一九五七年）

六〇、日本名著ものがたり 全六巻 東西文明社 一九五七年

・『日本名著ものがたり 一年生』（編 吉田精一 絵 立野保之介 東西文明社 一九五七年）

よるのくに（古事記）もちのまと（豊後風土記）おちくぼのきみ（落窪物語）みにくいおひめさま（今昔物語）ひよどりごえ（平家物語）かいあわせ（堤中納言物語）きのぼりのめいじん（徒然草）ねずみとねこ（お伽草子）

はごろも（謡曲）三ぼん（や（近古史談）かさはあおぞら（休咄）
・『日本名著ものがたり 二年生』（編 吉田精一 絵 立野保之介 東西文明社 一九五七年）

かぐやひめ（竹取物語）かみなりのさずけ子（日本霊異記）あつゆきとおそうしき（宇治拾遺物語）たからのつち（狂言）みなもとのよしつね（義経記）ひよしまる（太閤記）ほうりゅうかくのけっせん（南総里見八犬伝）かがのちよ（千代の俳句）おもちをたべたねこ（吾輩は猫である）

・『日本名著ものがたり 三年生』（吉田精一 絵 立野保之介 東西文明社 一九五七年）

オトタチバナヒメ（古事記）力の強い女のこと（日本霊異記）ふるさとの月（土佐日記）箱根路（金槐集）すずめの恩がえし（宇治拾遺物語）かなえをかぶる話（徒然草）たこのあし（世間胸算用）学問の道（折たく柴の記）本多重次のこと（常山紀談）雪国の話（北越雪譜）小鳥をかう話（日暮硯）やまお、為朝をたすける（椿説弓張月）海のぼうけん（ジョン万次郎聞書）耳なしほう一（怪談）

・『日本名著ものがたり 四年生』（吉田精一 絵 立野保之介

東西文明社 一九五七年)

地名のおこり(風土記) 少女のゆめ(更級日記) 酒吞童子(お伽草子) 吉野悲歌(太平記) うつば猿(狂言記) 鉢の木(謡曲) 川すずみ(鶉衣) 手まりうた(良寛歌集) 武田信玄の木像(常山紀談) 飛驒の天狗(駿台雑話) やじさんきたさん(東海道中膝栗毛) カエルとサザエ(鳩翁道話) どっちがばかか(雲萍雜志) 福沢論吉(福翁自伝)

・『日本名著ものがたり 五年生』(吉田精一 絵 立野保之介

東西文明社 一九五七年)

日本武尊(古事記) ふしぎな話・二題(日本霊異記) 歴史の鏡(大鏡) わざくらべ(今昔物語) さすらいの詩僧・西行、悲運の英雄(義経記) じゃがたら文(長崎夜話草) 決戦桶狭間(信長記) 美の俳人・蕪村、夢窓の鯉魚(雨月物語) 雨夜の灯(常山紀談) 名刀村雨丸(南総里見八犬伝) 杜子春

・『日本名著ものがたり 六年生』(吉田精一 絵 立野保之介
東西文明社 一九五七年)

よろずの言の葉(万葉集) 光源氏のおいたち(源氏物語) 平家の都おち(平家物語) ずいひつの文学(一)(方丈記) ずいひつの文学(二)(徒然草) 親鸞のおしえ(歎異抄) 松阪の一夜(玉かつま) 町人のすがた(日本永代藏) 流れる雲(奥の細道) 国姓爺合戦(近松門左衛門) 謙信と信玄(名将言行録) 西洋医学のはじまり(蘭学事始) 楠公をたたえる(日本外史) 近代小説のはじま

り(坪内逍遙) 美術の父(東洋の理想)

六一、なかよし絵文庫 全六〇巻 偕成社 一九五七年〜一九六二年

・『いなばの白うさぎ』(久保喬 絵 大石哲路 偕成社 一九五七年)

・『みなもとよしつね』(大木雄二 絵 新井五郎 偕成社 一九五七年)

・『とよとみひでよし』(柴野民三 絵 新井五郎 偕成社 一九五七年)

・『大江山のおに』(宮脇紀雄 絵 立野保之介 偕成社 一九五七年)

・『一休さん』(土家由岐雄 絵 松沢のぼる 偕成社 一九五八年)

・『かぐや姫』(土家由岐雄 絵 鈴木寿雄 偕成社 一九五八年)

・『曾我きょうだい』(二反長半 絵 新井五郎 偕成社 一九六二年)

・『二宮金次郎』(久保喬 絵 水野二郎 偕成社 一九五七年)

・『日本むかしばなし』(浜田広介 絵 黒崎義介 偕成社 一九五八年)

・『あんじゅとずし王』(平井芳夫 絵 羽石光志 偕成社 一九五九年)

・『美しい話』（大木雄二 絵 金野新一 偕成社 一九六二年）
良寛

六二、少年少女世界文学全集 講談社 全五〇巻 一九五八年～
一九六二年

・『日本編 第一巻』（訳者代表 浜田広介 講談社 一九六〇年）
古事記（木俣修 絵 佐多芳朗） 竹取物語（坪田譲治 絵 上河
辺みち） 日本民話（編 浜田広助 山中春雄、山下大五郎 絵 中
尾彰） 万葉集（木俣修 絵 上川辺みち）

・『日本編 第二巻』（訳者代表 福田清人 伊藤佐喜雄 講談社
一九五九年）

今昔物語（福田清人 絵 久米宏二） 平家物語（杉森久英 絵 羽
石光志） 太平記（福田清人 絵 古沢岩美） 義経記（伊藤佐喜雄
絵 石井健之） お伽草子（高野正巳 絵 久米宏二） 謡曲・狂言
物語（丸岡明 絵 森村宣永）

・『日本編 第三巻』（訳者代表 麻生磯次 講談社 一九六〇年）
八大伝（豊田三郎 絵 山崎百々雄） 東海道中膝栗毛（麻生磯次
絵 清水崑） 雨月物語（村松定孝 絵 鴨下晃湖） 西鶴名作集（暉
峻康隆 絵 永井潔） 国性翁合戦（青江舜二郎 絵 福田貂太郎）
芭蕉・蕪村・一茶名句集（中村草田男 絵 鴨下晃湖）
・『日本編 第四巻』（著者代表 山本有三 講談社 一九六一年）
山椒大夫（森鷗外作）

六三、少年少女日本名作物語全集 全二〇巻 講談社 一九五八
年～一九六三年

・『古事記物語』（訳 浜田廣介 絵 久米宏二 講談社 一九六
〇年）

・『万葉物語』（訳 佐藤一英 絵 鴨下晃湖 東京講談社 一九
五九年）

・『竹取物語』（訳 村松定孝 絵 石井健之 講談社 一九五九
年）

・『源氏物語』（訳 高木卓 絵 真野満 講談社 一九五九年）
・『今昔物語』（訳 平塚武二 絵 片岡京二 講談社 一九五八
年）

・『平家物語』（訳 福田清人 絵 池田一雄 講談社 一九五八
年）

・『源平盛衰記』（訳 村松定孝 絵 米内穂豊 講談社 一九五
八年）

・『義経記』（訳 太田黒克彦 絵 木俣清 講談社 一九五八年）
・『曾我物語』（訳 宮脇紀雄 絵 石井健之 講談社 一九五八
年）

・『太平記』（訳 宇野信夫 絵 野口昂明 講談社 一九五八
年）
・『謡曲・狂言物語』（訳 那須辰造 絵 佐藤義郎 講談社 一

九五九年)

・『太閤記』(訳 久米元一 絵 太田大八 講談社 一九五八年)

・『百合若大臣』(訳 久保喬 絵 米内穂豊・知田貝寿応 講談

社 一九五八年)

・『西鶴物語』(訳 高野正巳 絵 野口昴明・片岡京二 講談

社 一九五八年)

・『国姓爺合戦』(訳 高野正巳 絵 羽石光志 講談社 一九五

八年)

・『忠臣蔵』(訳 宇野信夫 絵 高根宏浩 講談社 一九五八年)

・『雨月物語』(訳 円地文子 絵 石井健之 講談社 一九五八

年)

・『八犬伝』(訳 伊藤佐喜雄 絵 木俣清史 講談社 一九六〇

年)

・『弓張月』(訳 塚原健二郎 絵 石井健之 講談社 一九五八

年)

・『東海道中膝栗毛』(訳 伊馬春部 絵 片岡京二 講談社 一

九六〇年)

六四、私たちの日本古典文学 全二五巻 さ・え・ら書房 一九

五八年〜一九六六年

・『古事記』(大久保正 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『平家物語』(桐原徳重 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『太平記』(永積安明 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『義経記・曾我物語』(市古貞次 さ・え・ら書房 一九五九年)

・『日本古典劇』(鶴見誠 小山弘志 さ・え・ら書房 一九五九

年)

・『西鶴と秋成』(藤崎一史 さ・え・ら書房 一九五九年)

・『芭蕉・蕪村・一茶』(沢田繁二 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『風土記・古代歌謡』(松下宗彦 さ・え・ら書房 一九六六年)

・『古今和歌集・新古今和歌集』(平井卓郎 さ・え・ら書房 一

九六三年)

・『宇津保物語・落窪物語・堤中納言物語』(秋山虔 さ・え・ら

書房 一九五八年)

・『かげろう日記・和泉式部・紫式部』(木村正中 さ・え・ら書

房 一九五九年)

・『万葉集』(岡部政裕 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『おとぎ草子・かな草子』(市古貞次 さ・え・ら書房 一九六

六年)

・『東海道中膝栗毛』(水野稔 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『弓張月・里見八犬伝』(鈴木重三 さ・え・ら書房 一九五八

年)

・『江戸庶民文学』(鶴見誠 さ・え・ら書房 一九五八年)

・『竹取物語・土佐日記・伊勢物語』(桜井祐三 さ・え・ら書房

一九五八年)

・『大鏡』（野村精一 さ・え・ら書房 一九五八年）

・『源氏物語・更級日記』（秋山虔 さ・え・ら書房 一九五八年）

・『枕草子・徒然草』（野本秀雄 さ・え・ら書房 一九五九年）

・『今昔物語』（西尾光一 さ・え・ら書房 一九五九年）

・『西行・定家・実朝』（手崎政男 さ・え・ら書房 一九五八年）

・『保元・平治物語』（久徳高文 さ・え・ら書房 一九五八年）

六五、児童世界文学全集 全二五巻 偕成社 一九五九年～一九

六二年

・日本神話物語集（福田清人 絵 太田大八 偕成社 一九六一
年）

古事記、風土記

・日本古典名作集（高野正巳 絵 大田大八 偕成社 一九六一
年）

義経記、竹取物語、今昔物語、宇治拾遺物語、お伽草子、雨月物
語

六六、日本少年少女童話全集 全一二巻 創元社 一九五九年～

一九六〇年）

・『日本少年少女童話全集一』（坪田譲治 絵 古田重郎 創元社
一九五九年）

一寸ぼうし（お伽草子）、すさのおの命とやまたのおろち（古事

記）、天人女房、オオカミ石、弓の名人、孝行むすこ、灰をたべ

たぬすびと、塔についていた血のはなし、貝あわせ（堤中納言物
語）、火の牛、天のかけはし、大太郎のしつぱい、天のつづみ（謡
曲）、富士山、エンブダゴンの思い出ばなし、こいになったお坊
さん、（雨月物語）、さるの別れ、天の川

・『日本少年少女童話全集二』（坪田譲治 伊藤好一郎 創元社
一九六〇年）

ぶんぶく茶がま、おおくにぬしの神の冒険（古事記）、見るなの
ざしき、うらしま太郎（お伽草子）、かぐや姫（竹取物語）観音
さまから夢をさずかる話（今昔物語）、二ひきのさる（古今著聞集）、
すみだ川（能）、花みつと月みつ（お伽草子）、あかがり（狂言）、
けまりのとのさま（吾妻鏡）、やくそくの松と笛、月と笛の音（西
鶴諸国噺）

・『日本少年少女童話全集三』（坪田譲治 絵 赤羽末吉 創元社
一九六〇年）

かちかち山、海幸山幸（古事記）、おばけうり（今昔物語）、三人
の大力太郎、佐渡ぎつね（狂言）、ネズミの島渡り（お伽草子）、
きもだめし（古今著聞集）、ほらあなの夢（今昔物語）、キツネの
いたずら（西鶴諸国噺）、ネズミの花むこ（お伽草子）、おにわか
（義経記）、いろはたくらみ（狂言）、白羽の矢（今昔物語）、は
かまだれの死にまね（今昔物語）

・『日本少年少女童話全集四』（坪田譲治 絵 久米宏一 創元社

一九六〇年)

白い鳥になった王子(古事記)、井戸ほりの名人、ものぐさ太郎(お伽草子)、お月お星、みなしこ正太郎(今昔物語)、菊の精(お伽草子)、ボンテン国のお姫さま(お伽草子)、すずめの恩がえし(宇治拾遺物語)、したきりすずめ、牛の腹に入った話(古今著聞集)、安義の橋の鬼(今昔物語)、松山鏡(謡曲)、末広がり、天下あらしい(狂言)

・『日本少年少女童話全集五』(坪田譲治 絵 太田大八 創元社 一九六〇年)

手なしのむすめ、キノコのおばけ、羅生門の鬼(お伽草子)、けちんぼの長者(今昔物語)、にじの橋(今昔物語)、五色のしか(宇治拾遺物語)、キツネの花よめ(お伽草子)、はまぐり姫(お伽草子)、ひばり山(謡曲)、ブスをたべた話(狂言)、ももたろう、タケノコあらしい(狂言)、あたご山のいのしし(今昔物語)、五わのがん(曾我物語)、大との小との(古今著聞集)

・『日本少年少女童話全集六』(酒井朝彦 絵 笹間良彦 創元社 一九六〇年)

ふしぎな夢(古事記)、片目ちがい、山ナシとり、カメとサルの子きぎも(今昔物語)、少年とはすの花、ゆめのまくら(謡曲)、伯母が酒(狂言)、フクロウくとウソ姫さん(お伽草子)、一本足のおばけ(西鶴諸国噺)、鉢かずき姫(お伽草子)、じゅずと女の子(お伽草子)、鬼につばきをかけられた話(今昔物語)、花さ

かじい

・『日本少年少女童話全集七』(酒井朝彦 絵 油野誠一 創元社 一九六〇年)

小僧と鬼ばんば、桃売り殿さま、うりこ姫コとアマンジャク、月にのぼったうさぎ(今昔物語)、貧しい女と糸(今昔物語)、鬼の子の恩がえし(今昔物語)、おかしな役人(今昔物語)、天狗の大集会(謡曲)、和尚さんときつね(統一休話)、金若丸(お伽草子)、あやしい船(西鶴諸国噺)、赤い雲とはちの話(今昔物語)

・『日本少年少女童話全集八』(坪田譲治 絵 池田仙三郎 創元社 一九六〇年)

鬼のおよめさん、白鳥のあね、豆コばなし、髪を売るむすめ(今昔物語)、観音さまを食べた話(今昔物語)、小次丸と捨石丸(春雨物語)、左右衛門と人形(西鶴諸国噺)牛ぬすびと(狂言)、ぬすびとをだます話(今昔物語)、みがわりになった弟子の話(今昔物語)、老僧どくたけを食べた話(今昔物語)

・『日本少年少女童話全集九』(酒井朝彦 絵 赤羽末吉 創元社 一九六〇年)

灰坊ものがたり、おくびょうな小僧さん、サルのみこ、国王とくだもの(今昔物語)、サルの子をあわれむシシ(今昔物語)、和藤内のふん戦(国性爺合戦)、玉虫姫のぼうけん(お伽草子)、まんじゅひめ(お伽草子)、馬になったお坊さま(今昔物語)、こぶとり(お伽草子)、少年が見た池の竜(宇治拾遺物語)

・『日本少年少女童話全集一〇』（酒井朝彦 絵 久米宏一 創元社 一九六〇年）

七羽の白い鳥、ハチのおかげ、旅人馬、石になった牛かい、れんげの花の童子（今昔物語）、そらとぶぼうさん、クル国のお姫さま（十訓抄）、いわし売りの殿さま（お伽草子）、ねずみの子のぼうけん（お伽草子）、ふしきな身なげ（宇治拾遺物語）、なぜなぜ問答（徒然草）、逃げグリ追いグリ灰まぶれ（狂言）

・『日本少年少女童話全集一一』（酒井朝彦 絵 市川禎男 創元社 一九六〇年）

春の神と秋の神のあらそい（古事記）、竜宮へいった花売り、どろぼうの名人、盗まれた夜光の玉（今昔物語）、めくらの母象と子象（今昔物語）、菊の日の約束（雨月物語）、宝満長者のたからもの（お伽草子）、冬の夜の物語（宇治拾遺物語）、ご意見ギツネ（狂言）、西行さんとゆうれい（雨月物語）、柿の実で命をおとす話（古今著聞集）、夢を売る老人（宇治拾遺物語）

・『日本少年少女童話全集一二』（坪田譲治 絵 野々口重 創元社 一九六〇年）

大歳の客、犬とネコとゆびわ、空へのぼった笛吹き、あし刈り（大和物語）、馬のしりに乗ったキツネ（今昔物語）、三人の父おやと三人の男の子（今昔物語）、もろこしの馬（古今著聞集）、老人をすてる国（今昔物語）、一角仙人の話（今昔物語）、あかんぼどころぼう（狂言）、菊王丸と三郎（狂言）、青葉の笛（お伽草子）、頼

光と四人のけらい（媼山姥）

六七、名作を生かそう 全三巻 さ・え・ら 書房 一九五九年
・『名作を生かそう 初級向』（編 東京私立初等学校協会 さ・え・ら 書房 一九五九年）

なすのよいち（平家物語）、よろうのたき日本でんせつ（古事記）、てんぐとひやくしよう日本むかしばなし、いっすんぼうし日本むかしばなし（お伽草子）、はなしをかうはなし日本むかしばなし、おうぎのまと（平家物語）、ふしぎなたいこ日本むかしばなし、あんじゅとずしおう日本むかしばなし（山椒大夫）、きんたろう、おおみそかのものうり日本むかしばなし、かえるの王さま、いなばのしろうさぎ（古事記）

・『名作を生かそう 中級向』（編 東京私立初等学校協会 さ・え・ら 書房 一九五八年）
海さちひこ山さちひこ（古事記）ツルの恩がえし日本昔話、

六八、世界名作全集 平凡社 全七〇巻+別巻あり 一九五九年、
一九六一年

・『古事記・今昔物語』（宮終二 平凡社 一九六〇年）
・『源氏物語 上』（舟橋聖一 平凡社 一九六〇年）
・『源氏物語 下』（舟橋聖一 平凡社 一九六一年）

・『平家物語』（尾崎士郎 平凡社 一九六〇年）

・『西鶴名作集・近松名作集』（丹波文雄・井上友一郎 平凡社 一九五九年）

・『雨月物語・東海道中膝栗毛・春色梅暦』（森三千代・田岡典夫 平凡社 一九五九年）

六九、日本のこころ 全六巻 小峰書店 一九五九―一九六一年

・『日本のこころ 1年生』（編 与田準一他 小峰書店 一九六〇年）

はごろも、（謡曲）ぶんぶくちやがま、一ぼんのわらしべ（今昔物語）、ふしぎな水

・『日本のこころ 2年生』（編 与田準一他 小峰書店 一九六〇年）

古事記ものがたり

・『日本のこころ 3年生』（編 与田準一他 小峰書店 一九六一年）

かぐやひめ（竹取物語）、はちかつき（お伽草子）

・『日本のこころ 4年生』（編 与田準一 小峰書店 一九六〇年）

たかを取る男（今昔物語）、源平八島のたたかい（平家物語）、まごころの手紙（義経記）俵藤太ものがたり（お伽草子）江戸へのあこがれ（小林一茶）

・『日本のこころ 5年生』（編 与田準一他 小峰書店 一九五九

年）

父の遺言（宇治拾遺物語）、夢にあらわれたこいの話、（雨月物語）佐渡のキツネ（狂言）

・『日本のこころ 6年生』（編 与田準一他 小峰書店 一九五九年）

仏を射とめたかりうど（宇治拾遺物語）鬼界が島の俊寛（源平盛衰記）のみの筆ぬけ（西鶴諸国噺）

七〇、子どもの伝記物語 全五〇巻 ポプラ社 一九五九年

・『小林一茶』（斎藤了一 絵 大石哲路 ポプラ社 一九五九年）

・『良寛』（小侯万次郎 絵 大石哲路 ポプラ社 一九五九年）

・『源義経』（宮脇紀雄 絵 石井健之 ポプラ社 一九五九年）

・『豊臣秀吉』（北島春信 絵 矢島健三 ポプラ社 一九五九年）

・『宮本武蔵』（阿貴良一 絵 矢島健三 ポプラ社 一九六〇年）

・『一休』（楨本ナナ子 絵 大石哲路 ポプラ社 一九六〇年）

七一、日本伝説ものがたり 泰光堂 全三巻 一九五九年

・1年生（久保 絵 大石哲路 泰光堂 一九五九年）

きんたろう、はごろも、わらうほとけさま、ふしぎななしのみ、いっすんぼうし（お伽草子）、うみへしずんだやま、おおよやま、むかでたいじ、わしとこども、かにのおれい、はちとくも、おじどうさまのかお、たまごのまと、うしわかまる（義経記）、ぶん

ぶくちやがま

・二年生（神戸淳吉 絵 小谷野半二 泰光堂 一九五九年）

うらしまたろう（お伽草子）、かがみのなかのおかあさま、さるのかたな、とささんすけ、げんごろうぶな、すごろくしょうぶ、おにのめん、べんけいのわらにんぎよう、あさひちようじや、ものぐさたろう、かくやひめ（竹取物語）、きんのにわとり

・三年生（関英雄 絵 新井五郎 泰光堂 一九五九年）

うめわか丸、山ぶきの里、はちの木ものがたり、ひつじ大夫、うばすて山、ゆめを買ってとくした話、良寛さんと月のウサギ（良寛）、おがらの沼、さる神たいじ、らしよう門の鬼（お伽草子）
おかめ島ものがたり、ゆりわか大臣

七二、学年別世界児童文学全集 全一〇〇巻 日本書房 一九

六〇年～一九六一年

・『いっすんぼうし』（一、二年）（瀬木哲哉 絵 三谷一馬 日本書房 一九六一年）

いっすんぼうし（お伽草子）、はなよひめ（お伽草子）、ふえとぬすびと、あまさんとぬすびと、くらげのおつかい、あまのはごろも、海さち山さち（古事記）、へびのおよめ

・『良寛さま』（一、二年）（五十公野清一 絵 三谷一馬 日本書房 一九六〇年）

・『かくや姫 日本童話集より』（二、三年）（新関春生 絵 三谷

一馬 日本書房 一九六一年）

まんじゅひめ（お伽草子）、こぶとりじいさん（宇治拾遺物語）、さるのおんがえし、かくやひめ（竹取物語）

・『いっきゆうさん』（一、二年）（五十公野清一 日本書房 一九六一年）

・『はちかつぎ姫』（二、三年）（瀬木哲哉 日本書房 一九六一年）
はちかつぎ姫（お伽草子）、すずめのひようたん、たまわか丸

・『山椒大夫（上級生）』（青木達夫 日本書房 一九六一年）

七三、少年少女日本むかし噺 筒井敏雄 東光出版社 一九六〇年

上と下の臼、もちのかけ、歯医者とけちんぼ、とんちくらべ、かたかなごよみ、じゅくしとどろぼう、ながいはなし、みじかいはなし、もう一つみじかいはなし、ふしぎなへび、よいとこしよ、飴んぼうとローソク、びつくりもち、そうめんとおにめん、まぬけどろぼう、お芋ころころ、水のお酒、おやのおかけ、からかさで空を飛んだ女、鴨とり権兵衛さん、わき見のたたり、あたまにはえた木、運のいいかりゅうど、恩をわすれたかりゅうど、ほらふきかりゅうど、弓のめいじん、鹿かおしようか、和尚さんとぼたもち、和尚さんともち、ふしぎなまもりふだ、ふくふ長者のはなし、日本一のおはなし太郎、日本一のウソつき太郎、桃太郎、ながいたれバナ物がたり、ましてや爺さん、天狗のうちわ、舌きりすずめ、腰おれすずめ、サルカニ合戦、えの木の僧正、かなえ

おどり、鉢かつぎ姫（お伽草子）、かちかち山、花さかじい、うぐいす姫、養老のたき（古今著聞集）、牛にひかれて善光寺まわり、たからくらべ、一寸ぼうし（お伽草子）、おじいさんのたてふだ、うらしま太郎（お伽草子）、かぐや姫（竹取物語）、天のはごろも、世界のはじまり、国うみのはなし（古事記）、黄泉の国のはなし（古事記）、天の岩戸（古事記）、やまたの大蛇（古事記）、いなばのうさぎ（古事記）、あかいイノシシ、やさしいスセリ姫、柱にむすんだかみの毛

七四、幼年世界文学全集 全二四巻 偕成社 一九六〇年～一九六五年）

・『あんじゅとずし王、かぐや姫』（徳永寿美子 絵 池田かずお 偕成社 一九六一年）

・『神話ものがたり集』（大木雄二 絵 久米宏一 偕成社 一九六一年）

・『日本名作ものがたり集』（土家由岐雄 絵 永井潔 偕成社 一九六五年）

わざくらべ（今昔物語）、曾我ものがたり（曾我物語）、菊花のちぎり（雨月物語）、八大伝ものがたり（南総里見八大伝）、大どろぼうとやすまさ（宇治拾遺物語）ふろのかまわり（東海道中膝栗毛）

・『日本おとぎ話』（与田準一 絵 池田かずお 偕成社 一九六

二年）

ようろうのたき（お伽草子）、たわらのとうだ（お伽草子）、はまぐりひめ、おおえやまの鬼（お伽草子）、うばすて山、はちかづきひめ（お伽草子）、ものぐさ太郎、はごろも、まんじゅひめ

七五、日本童話全集 全一二巻 あかね書房 一九六〇年～一九六三年）

・『神代の物語』（坪田譲治 絵 吉田暢生 あかね書房 一九六〇年）

古事記・風土記・日本書紀

・『今は昔の物語 1』（坪田譲治 絵 太田大八 あかね書房 一九六〇年）

今昔物語集

・『今は昔の物語 2』（坪田譲治 絵 太田大八 あかね書房 一九六一年）

宇治拾遺物語

・『源氏と平家物語』（坪田譲治 あかね書房 一九六〇年）

保元物語・平治物語・平家物語・義経記

・『日本おとぎ物語』（坪田譲治 絵 水野三郎 あかね書房 一九六一年）

お伽草子

七六、少年少女世界むかしばなし全集 宝文館 全一〇巻 一九六〇年

・『日本むかしばなし集』(奈街三郎・藤沢衛彦 絵 寺田政明 宝文館 一九六〇年)

ネコとネズミ、ネズミのすもう、さるのいきぎもーくらげほねなし、サルとガマガエルともち、サルカニ合戦、ふるやもり、サルの一文せん、サルの恩返し、ツルの恩返し、かさ地ぞう、サル地ぞう、ネズミのもちくち、舌きりスズメ、千石村、こぶとり(宇治拾遺物語)、フクロウのそめものや、母子草、安寿と厨子王、安長ひめとカニふち、はちかつぎひめ(お伽草子)、千本のはりと千のひょうたん、牛にひかれてお寺まいり、ひょうとくさまーひよっとこのはじまり、山になれ川になれ、こだまのはじまり、恩知らずのかりゅうど、かちかち山、文福茶がま、夢を買った話、たんすの田んぼ、カネランのなみだ、三年寝太郎、うそつき太郎、うすばかの太郎、ミョウガ宿

作品別索引(二巻以上掲載)

・『竹取物語』(三九)

一、二、三、五、八、一四、一六、一八、二一、二二、二四、三〇、三三、三七、四〇、四一、四二、四六、四七、四八、四九、五一、五二、五三、五四、五六、五七、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六九、七一、七二、七三、七四

・『古事記』(三五)

一、二、八、一三、一四、一八、一九、二一、二二、三〇、三一、四〇、四三、四六、四七、四八、五一、五二、五三、五四、五七、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六六、六七、六八、六九、七二、七三、七四、七五

・『義経記』(三〇)

一、二、五、一三、一八、二四、二七、二九、三〇、三四、三七、四〇、四二、四六、四七、五一、五二、五四、五六、五七、六〇、六一、六二、六三、六四、六五、六九、七〇、七一、七五

・『お伽草子』(三〇)

二、三、一四、一八、二二、二四、二七、三〇、三一、三七、四〇、四六、四七、四八、五〇、五三、五七、六〇、六一、六四、六五、六六、六七、六九、七一、七二、七三、七四、七五、七六

・『平家物語』(二八)

一、一二、一三、一五、一八、二一、二二、二四、二六、三〇、四六、四七、四八、四九、五二、五三、五七、五八、五九、六〇、

六二、六三、六四、六七、六八、六九、七五

・『太閤記』(二五)

一、六、七、九、一三、一七、二一、二五、二九、三四、三五、
三七、三八、三九、四〇、四二、四五、四六、五一、五二、五六、
六〇、六一、六三、七〇

・『東海道中膝栗毛』(二五)

九、一一、一三、一八、二一、二二、二四、二七、三〇、三四、
三五、四六、四七、四八、四九、五一、五三、五四、五六、五七、
六〇、六三、六四、六八、七四

・『今昔物語集』(二三)

一、二、三、五、八、一二、一八、三〇、四六、四七、四九、五
〇、五一、五二、五三、五七、六〇、六二、六三、六五、六六、
六八、六九

・『南総里見八犬伝』(二二)

六、一三、一五、一八、二一、二三、二四、二八、三三、三四、
三五、三六、四〇、四二、四六、五六、五七、六〇、六三、六四、
七四

・『雨月物語・春雨物語』(二二)

一、一三、一八、二一、二二、二四、三〇、三四、四六、四七、
四九、五七、六〇、六一、六三、六四、六五、六六、六八、六九、
七四

・安寿と厨子王(山椒大夫)(一九)

二、三、五、一四、一八、二七、二八、三三、三四、二七、四〇、
五四、五五、六一、六二、六七、七二、七四、七六

・『曾我物語』(二七)

一、一三、三〇、三四、三五、三九、四〇、四二、四六、四七、
五一、五三、五七、六一、六三、六四、六六、七四

・『宇治拾遺物語』(一七)

一、二、一四、一八、二二、三〇、三一、四六、四七、五三、六
〇、六五、六六、六九、七二、七四、七六

・『太平記』(一三)

一、一三、二一、二三、四六、五一、五二、五三、六〇、六一、
六二、六三、六四

・『更科日記』(二三)

一、四、一一、二四、四六、四七、四八、五一、五二、五三、五
七、六〇、六四

・『井原西鶴』(西鶴諸国噺)(一一)

一、三〇、四六、四七、五七、六〇、六二、六三、六四、六六、
六八、六九

・狂言(一一)

一五、四六、四七、四八、五一、五三、五七、五九、六〇、六一、
六三、六九

・『国姓爺合戦』(一一)

二六、二七、二九、四六、四七、五一、五二、五七、六〇、六一、

六六、六八

・『源氏物語』(一二)

五、一三、二六、二九、三四、四六、五二、五七、六〇、六三、
六四、六八

・『保元・平治物語』(一二)

一、一八、二一、二四、三九、四〇、四六、五一、五二、五七、
六四、七五

・謡曲(一二)

二、一五、一八、四六、四七、五一、五三、六〇、六一、六三、
六六、六九

・良寛(一二)

一、五、一〇、二〇、二九、三七、四八、六〇、六一、七〇、七
一

・『万葉集』(一一)

一、一五、二六、三二、四六、四八、五一、六〇、六一、六三、
六四

・小林一茶(一一)

一、二〇、二七、二九、四八、四九、五一、五四、六一、六九、
七〇

・『堤中納言物語』(一〇)

一、一八、三〇、四七、四八、五一、五七、六〇、六四、六六
・『風土記』(十)

一八、三二、四六、四七、四八、五三、六〇、六四、六五、七五

・松尾芭蕉(九)

一、二六、四六、四八、四九、五一、五二、五七、六二

・『徒然草』(九)

一、二、二六、四六、四七、四八、五三、六〇、六四

・『土佐日記』(九)

一、一八、二六、四七、四八、五一、五七、六〇、六四

・宮本武蔵(八)

七、一七、二九、三五、三六、三九、四四、五六

・『源平盛衰記』(八)

一三、一八、二七、二八、四三、五一、六三、六九

・『椿説弓張月』(七)

二一、二七、三〇、四〇、五一、五三、六〇

・一休さん(七)

六、一五、三五、四五、五六、六六、七〇

・『古今著聞集』(七)

一、一八、四七、五二、五三、六六、七三

・『枕草子』(六)

一、一八、二九、四七、四八、六四

・『水戸黄門漫遊記』(五)

六、九、三四、五二、五六

・『日本靈異記』(五)

六、九、三四、五二、五六

四七、五二、五三、五七、六〇

・能(四)

四六、四八、五九、六六

・『忠臣蔵』(四)

二一、三四、四六、五六

・与謝蕪村(四)

一、五一、六〇、六二

・『大鏡』(四)

一、四六、六〇、六四

・『十訓抄』(四)

二、四七、五七、六六

・『信長記』(三)

一、四四、六〇

・『宇津保物語』(三)

四六、四七、六四

・西行(三)

一、六〇、六四

・『伊勢物語』(二)

一八、六四

・『大和物語』(二)

一八、六六

終わりに

戦後以降、児童文学全集の中で、洋の東西を問わない古典作品が「再話」されてきたこと、またそうである以上戦後の児童文学において「再話」が重要な位置を占めていることについては、先に佐藤宗子が多くの研究論文で論じている。「精選と洗練の産物」——「教養」追求からみた「岩波少年少女文学全集」——(千葉大学教育学部研究紀要 二〇一一年三月)では、一九六一年からの「岩波少年少女全集」の刊行を「第二次大戦後の一九五〇年代から続いてきた、「教養」形成をめざした少年少女向け翻訳叢書の、一つの凝縮した結実」という、一つの時代の区切りとして佐藤は捉えているが、そういった一つの時代の中で、どれだけの日本の古典作品が採録され、子どもに親しまれてきたか、あるいは何が子どもの読むべきものだと思われてきたかを全体から俯瞰したい、ということが、本稿の主眼である。

ただし、児童文学上での日本の古典文学に焦点を当てることについて、視野に入れておくべき問題はいくつかある。小学校教諭である大井源一郎が執筆した「小学生の読書生活におけるほん訳文学の位置」(『学校図書館』全国学校図書館協議会 一九六六年九月)によれば、「現在の小学生の読書生活をふりかえり、日本文学と外国文学の比重を比べると、いわゆる外国文学の占める割合は予想以上に多」かったそうだ。岩波少年文庫が、一九三卷中二巻しか日本の古典文学を取り扱わなかった点などをふまえ

ば、児童文学の再話というジャンルで外国文学に重きをおかれていた節があったことについては否定できないだろう。しかし一方で、戦後から一九五〇年代にかけて講談の流れを汲む児童文学叢書の中で軍記物や江戸期の文学が取り上げられている点や、五〇年代半ば頃から日本の古典文学に焦点を当てた文学叢書がいくつも見られる点などを顧みれば、戦後を通じて日本の古典文学が児童に親しまれてきたこともまた、確かだといえるだろう。また、今回の目録には掲載を見送ったが、「民話」というテーマで編纂された全集の中にも、日本古典文学の再話が見受けられる。それらを考慮すれば、ここに掲載にしたものは氷山の一角に過ぎないといえるかもしれない。

ともかくにも、今後は作品ごとに絞って「再話」に送り手のどのような意図が反映されていたかをこの調査を土台に考察していくことが、現在の自分にとっての課題である。

参考文献

- ・『世界児童文学全集・内容総覧』（日外アソシエーション 一九九八年）
- ・『児童文学テーマ全集内容総覧 日本編』（日外アソシエーション 二〇〇三年）
- ・『児童文学テーマ全集内容総覧 世界編』（日外アソシエーション 二〇〇三年）
- ・『岩波少年文庫 五〇周年フェア』
(<http://www.iwanami.co.jp/moreinfo/shobun60/>) 六月二五日
閲覧)

（おびつようたろう 大学院後期課程在学学生）